

令和3年度
決 算 書

社会福祉法人
津山市社会福祉協議会

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

第1号第1様式
(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	7,278,000	6,515,200	762,800	
	寄附金収入	8,726,000	7,921,599	804,401	
	経常経費補助金収入	59,707,000	59,622,550	84,450	
	受託金収入	227,103,000	203,431,455	23,671,545	
	交付金収入	70,000	86,400	-16,400	
	貸付事業収入	1,000,000	3,000	997,000	
	事業収入	11,087,000	11,426,340	-339,340	
	負担金収入	27,075,000	22,109,244	4,965,756	
	法人後見事業収入	3,793,000	3,795,000	-2,000	
	介護保険事業収入	99,933,000	101,852,689	-1,919,689	
	障害者総合支援事業収入	1,013,000	1,012,710	290	
	受取利息配当金収入	3,737,000	3,725,323	11,677	
	その他の収入	1,544,000	1,492,985	51,015	
	事業活動収入計(1)	452,066,000	422,994,495	29,071,505	
支出					
人件費支出	346,206,000	319,431,031	26,774,969		
事業費支出	121,784,000	99,268,482	22,515,518		
事務費支出	14,423,000	11,044,769	3,378,231		
貸付事業支出	1,000,000	0	1,000,000		
助成金支出	14,126,000	13,092,232	1,033,768		
事業活動支出計(2)	497,539,000	442,836,514	54,702,486		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-45,473,000	-19,842,019	-25,630,981		
施設整備等による収支	収入				
	その他の施設整備等による収入	2,925,000	2,925,000	0	
	施設整備等収入計(4)	2,925,000	2,925,000	0	
	支出				
固定資産取得支出	4,690,000	4,679,403	10,597		
施設整備等支出計(5)	4,690,000	4,679,403	10,597		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,765,000	-1,754,403	-10,597		
その他の活動による収支	収入				
	基金積立資産取崩収入	59,397,000	48,300,000	11,097,000	
	積立資産取崩収入	8,405,000	5,148,505	3,256,495	
	事業区分間繰入金収入	8,015,000	0	8,015,000	
	拠点区分間繰入金収入	36,025,000	0	36,025,000	
	サービス区分間繰入金収入	24,727,000	0	24,727,000	
	その他の活動による収入計(7)	136,569,000	53,448,505	83,120,495	
	支出				
	基金積立資産支出	2,000,000	2,000,000	0	
	積立資産支出	7,340,000	6,342,478	997,522	
事業区分間繰入金支出	8,015,000	0	8,015,000		
拠点区分間繰入金支出	36,025,000	0	36,025,000		
サービス区分間繰入金支出	24,727,000	0	24,727,000		
その他の活動支出計(8)	78,107,000	8,342,478	69,764,522		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	58,462,000	45,106,027	13,355,973		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	11,224,000	23,509,605	-12,285,605		
前期末支払資金残高(12)	30,928,000	30,943,139	-15,139		
当期末支払資金残高(11)+(12)	42,152,000	54,452,744	-12,300,744		

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

第2号第1様式

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減		
サービス活動増減の部	収	会費収益	6,515,200	6,629,400	-114,200	
		寄附金収益	7,921,599	9,777,563	-1,855,964	
		経常経費補助金収益	59,622,550	63,739,951	-4,117,401	
		受託金収益	203,431,455	197,233,333	6,198,122	
		交付金収益	86,400	72,000	14,400	
		事業収益	11,426,340	10,751,961	674,379	
		負担金収益	22,109,244	22,595,681	-486,437	
	益	法人後見事業収益	3,795,000	2,424,000	1,371,000	
		介護保険事業収益	101,852,689	109,193,955	-7,341,266	
		障害者総合支援事業収益	1,012,710	626,478	386,232	
		サービス活動収益計(1)	417,773,187	423,044,322	-5,271,135	
		費用	人件費	319,431,031	320,528,886	-1,097,855
			事業費	99,268,482	108,925,972	-9,657,490
			事務費	11,044,769	11,566,037	-521,268
		助成金費用	13,092,232	13,255,014	-162,782	
		減価償却費	16,360,109	15,683,192	676,917	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-12,664,902	-12,326,778	-338,124	
		サービス活動費用計(2)	446,531,721	457,632,323	-11,100,602	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-28,758,534	-34,588,001	5,829,467	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	3,185,857	2,605,378	580,479	
		投資有価証券売却益	0	17,354,000	-17,354,000	
	益	その他のサービス活動外収益	1,492,985	1,409,325	83,660	
		サービス活動外収益計(4)	4,678,842	21,368,703	-16,689,861	
		費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,678,842	21,368,703	-16,689,861	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-24,079,692	-13,219,298	-10,860,394	
特別増減の部	収	その他の特別収益	2,925,000	0	2,925,000	
		特別収益計(8)	2,925,000	0	2,925,000	
	費用	固定資産売却損・処分損	0	2	-2	
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,925,000	0	2,925,000	
		特別費用計(9)	2,925,000	2	2,924,998	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	-2	2	
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-24,079,692	-13,219,300	-10,860,392	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	116,331,449	109,812,286	6,519,163	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	92,251,757	96,592,986	-4,341,229	
		基本金取崩額(14)	0	0	0	
		その他の積立金取崩額(15)	53,448,505	30,531,265	22,917,240	
		その他の積立金積立額(16)	8,339,478	10,792,802	-2,453,324	
			次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	137,360,784	116,331,449	21,029,335

法人単位貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

第3号第1様式

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	78,162,687	79,358,252	-1,205,565	流 動 負 債	23,669,043	48,415,113	-24,745,170
現 金 預 金	16,309,936	14,575,911	1,734,025	専 業 未 払 金	22,066,039	27,396,194	-5,300,155
中国銀行#1143083	10,005,868	9,968,690	37,178	預 り 金	1,610,020	1,686,920	-176,900
中国銀行#1152309	3,823,139	3,133,371	689,768	ボランティア保険料	0	410,900	-410,900
中国銀行#1157360	970,909	217,270	753,639	その他の預り金	1,610,020	1,276,020	234,000
定期預金(中国銀行)	1,610,020	1,256,580	253,440	職 員 預 り 金	0	31,317	-31,317
専 業 未 収 金	61,840,606	64,782,341	-2,941,735	社 会 保 険 料	0	31,317	-31,317
立 替 金	2,145	0	2,145	前 受 金	93,884	682	93,202
固 定 資 産	1,004,365,460	1,061,694,659	-57,329,199	仮 受 金	0	19,300,000	-19,300,000
基 本 財 産	226,592,904	239,660,688	-13,067,784	固 定 負 債	37,268,828	35,304,855	1,963,973
土 地	11,272,044	11,272,044	0	退 職 給 付 金	37,268,828	35,304,855	1,963,973
建 物	212,220,860	225,288,644	-13,067,784	負 債 の 部 合 計	60,968,771	83,719,968	-22,751,197
建 物	132,507,395	143,646,820	-11,139,425	純 資 産 の 部			
建 物 付 属 設 備	79,713,465	81,642,824	-1,929,359	基 本 金	4,066,507	4,066,507	0
定 期 預 金	3,100,000	3,100,000	0	基 本 金	4,066,507	4,066,507	0
そ の 他 の 固 定 資 産	777,772,556	822,033,971	-44,261,415	国 庫 補 助 金 特 別 積 立 金	175,728,531	185,468,433	-9,739,902
土 地	9,536,271	9,536,271	0	国 庫 補 助 金 特 別 積 立 金	175,728,531	185,468,433	-9,739,902
建 物	12,603,839	13,783,017	-1,179,178	そ の 他 の 積 立 金	704,393,554	751,466,554	-47,073,000
機 械 及 び 装 置	20,648	27,526	-6,878	基 金 積 立 金	606,418,816	652,718,816	-46,300,000
車 輛 運 搬 具	4,610,341	1,554,943	3,055,398	地 域 福 祉 活 動 基 金	202,000,519	202,000,519	0
器 具 及 び 備 品	2,244,007	2,726,271	-482,264	福 祉 基 金	219,705,376	266,005,376	-48,300,000
投 資 有 価 証 券	7,013,068	7,552,534	-539,466	交 通 遺 児 激 励 基 金	18,712,921	18,712,921	0
退 職 給 付 引 当 資 産	37,268,828	35,304,855	1,963,973	こ ど も 基 金	150,000,000	150,000,000	0
職 員 退 職 手 当 積 立 資 産	37,268,828	35,304,855	1,963,973	福 祉 会 館 建 設 基 金	16,000,000	14,000,000	2,000,000
基 金 積 立 資 産	606,418,816	652,718,816	-46,300,000	そ の 他 の 積 立 金	97,974,738	98,747,738	-773,000
地 域 福 祉 活 動 基 金	202,000,519	202,000,519	0	運 営 資 金 積 立 金	73,444,100	73,217,100	227,000
福 祉 基 金	219,705,376	266,005,376	-48,300,000	修 繕 費 積 立 金	4,000,000	4,000,000	0
交 通 遺 児 激 励 基 金	18,712,921	18,712,921	0	備 品 更 新 費 積 立 金	17,086,000	18,086,000	-1,000,000
こ ど も 基 金	150,000,000	150,000,000	0	福 祉 金 庫 貸 付 原 資 積 立 金	3,444,638	3,444,638	0
福 祉 会 館 建 設 基 金 積 立	16,000,000	14,000,000	2,000,000	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	137,360,784	116,331,449	21,029,335
そ の 他 の 積 立 資 産	98,535,738	97,305,738	-770,000	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 (うち当期活動増減差額)	137,360,784	116,331,449	21,029,335
運 営 資 金 積 立 金	73,444,100	73,217,100	227,000		-24,079,692	-13,219,300	-10,860,392
修 繕 費 積 立 金	4,000,000	4,000,000	0				
備 品 更 新 費 積 立 金	17,086,000	18,086,000	-1,000,000				
福 祉 金 庫 貸 付 原 資 積 立 金	2,005,638	2,002,638	3,000				
福 祉 金 庫 貸 付 金	1,439,000	1,442,000	-3,000	純 資 産 の 部 合 計	1,021,549,376	1,057,332,943	-35,783,567
そ の 他 の 固 定 資 産	82,000	82,000	0	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,082,518,147	1,141,062,911	-58,534,764
資 産 の 部 合 計	1,082,518,147	1,141,062,911	-58,534,764				

財産目録

令和4年3月31日現在

別紙4

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
中国銀行#1143083	中国銀行津山市役所出張所	—	運転資金	—	—	10,005,868
中国銀行#1152309	中国銀行津山市役所出張所	—	運転資金	—	—	3,823,139
中国銀行#1157360	中国銀行津山市役所出張所	—	運転資金	—	—	970,909
定期預金(中国銀行)	中国銀行津山市役所出張所	—	収益事業積立金他	—	—	1,510,020
			小計			16,309,936
事業未収金	国保連他	—	介護報酬他	—	—	61,840,606
立替金		—	源泉所得税	—	—	2,145
			流動資産合計			78,152,687
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地						
	津山市下高倉西319-3 (宅地)	—	倉庫用地として	966,393	0	966,393
	津山市下高倉西319-7 (原野)	—	倉庫用地として	114	0	114
	津山市真字綱上867番1 (宅地)	—	老人福祉センター用地として	5,331,194	0	5,331,194
	津山市真字綱上867番3 (山林)	—	老人福祉センター用地として	3,999,835	0	3,999,835
	津山市真字穴田960番3 (山林)	—	老人福祉センター用地として	270,000	0	270,000
	津山市真字穴田960番4 (雑種地)	—	老人福祉センター用地として	704,508	0	704,508
			小計			11,272,044
建物						
	津山市山北520 津山市総合福祉会館	1982年度	地域福祉活動の拠点として	493,347,205	373,216,833	120,130,372
	津山市皿867-1 津山老人福祉センター	1972年度	地域福祉活動の拠点として	57,139,160	44,762,137	12,377,023
	津山市山北520 津山市総合福祉会館	2016年度	地域福祉活動の拠点として(4階空調・照明設備)	36,110,880	4,215,942	31,894,938
	津山市山北520 津山市総合福祉会館	2017年度	地域福祉活動の拠点として(1~3階空調・照明設備)	49,101,120	4,173,593	44,927,527
	津山市皿867-1 津山老人福祉センター	2019年度	地域福祉活動の拠点として	3,360,000	469,000	2,891,000
			小計			212,220,860
定期預金	中国銀行津山市役所出張所	—	基本財産積立金として	—	—	3,100,000
			基本財産合計			226,592,904
(2) その他の固定資産						
土地						
	津山市山下35-4 (鶴山福祉ビル)	—	収益事業のビル運営として	—	—	9,536,271
建物						
	津山市新野東667-1 (車庫・機材収納庫)	1995年度	地域福祉活動の拠点として	500,644	500,643	1
	津山市新野東1125 (福祉用具収納倉庫)	2004年度	地域福祉活動の拠点として	24,115,540	12,295,298	11,820,242
	津山老人福祉センター	2007年度	地域福祉活動の拠点として	4,137,000	3,910,498	226,502
	津山老人福祉センター	2015年度	地域福祉活動の拠点として	172,800	109,440	63,360
	津山市山下35-4 (鶴山福祉ビル)	1969年度	収益事業のビル運営として	20,000,000	19,999,999	1
	津山市山下35-4 (鶴山福祉ビル)	2008年度	収益事業のビル運営として	2,514,750	2,021,017	493,733

財産目録

令和4年3月31日現在

別紙4

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	
機械及び装置 車両運搬具 器具及び備品 ソフトウェア 投資有価証券 退職給付引当資産 職員退職手当積立資産	電話設備・電話機一式	—	小計	5,584,237	5,563,589	12,603,839	
	公用車	—	地域福祉活動	56,269,481	51,659,140	20,648	
	パソコン他	—	地域福祉活動	32,909,434	30,665,427	4,610,341	
	会計ソフト他	—	地域福祉活動	1,906,100	—	2,244,007	
	中国銀行津山市役所出張所	—	退職金積立	—	—	0	
	中国銀行津山市役所出張所	—	退職金積立	—	—	7,013,068	
	中国銀行津山市役所出張所	—	小計	—	—	37,268,828	
	中国銀行津山市役所出張所	—	小計	—	—	37,268,828	
	中国銀行津山市役所出張所	—	地域福祉事業	—	—	202,000,519	
	中国銀行津山市役所出張所	—	地域福祉事業	—	—	219,705,376	
交通遺児激励基金 ことども基金 福祉会館建設基金積立	中国銀行津山市役所出張所	—	交通遺児激励事業	—	—	18,712,921	
	中国銀行津山市役所出張所	—	子育て支援事業	—	—	150,000,000	
	中国銀行津山市役所出張所	—	津山市総合福祉会館の建替費用	—	—	16,000,000	
	中国銀行津山市役所出張所	—	小計	—	—	606,418,816	
	中国銀行津山市役所出張所	—	運輸資金	—	—	73,444,100	
	中国銀行津山市役所出張所	—	固定資産の修繕費用	—	—	4,000,000	
	中国銀行津山市役所出張所	—	備品等の更新費用	—	—	17,086,000	
	中国銀行津山市役所出張所	—	貸付事業の費用	—	—	2,005,638	
	中国銀行津山市役所出張所	—	小計	—	—	96,535,738	
	中国銀行津山市役所出張所	—	貸付事業の費用	—	—	1,439,000	
福祉会館貸付金 その他の固定資産	津山信用金庫本店他	—	出資金等	—	—	82,000	
	その他の固定資産合計	—	—	—	—	777,772,556	
	固定資産合計	—	—	—	—	1,004,365,460	
	資産合計	—	—	—	—	1,082,518,147	
	II 負債の部	—	—	—	—	—	
	1 流動負債	3月分給与他	—	—	—	—	22,096,039
		事業未払金	—	—	—	—	—
		預り金	—	—	—	—	1,510,020
		その他の預り金	—	—	—	—	1,510,020
	前受金	鶴山福祉ビル入居者保証金他	—	—	—	—	93,884
鶴山福祉ビル賃料4月分		—	—	—	—	23,699,943	
流動負債合計	—	—	—	—	—	—	
2 固定負債	退職給付引当金	—	—	—	—	37,268,828	
	退職給付引当金	—	—	—	—	37,268,828	
	負債合計	—	—	—	—	60,968,771	
	差引純資産	—	—	—	—	1,021,549,376	

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人
津山市社会福祉協議会

目次

事業報告	1
第6次地域福祉活動計画による基本目標	1
◎実施計画	
基本目標1 みんなで支え合うまちづくり	2
1 地域で支え合う意識の醸成	2
(1) 住民福祉座談会の開催	2
(2) 地域型福祉共育（教育）の推進	3
(3) 学校における福祉教育の推進	3
2 津山版地域包括ケアシステムの推進	5
(1) 津山版地域包括ケアシステムの構築	5
3 小地域ケア会議の推進	6
(1) 小地域ケア会議設置推進と運営支援	6
4 地域を基盤とした福祉活動の推進	7
(1) 地域福祉推進のための関係団体との連携強化	7
(2) 支部単位の地域福祉活動団体（住民組織）との連携と活動支援	8
(3) ふれあいサロンの設置推進と支援	9
(4) ご近所福祉ネットワーク活動の推進	10
(5) 生活支援コーディネーター事業の推進	10
5 ボランティア・NPO活動の促進	13
(1) ボランティア活動センター機能の充実	13
基本目標2 安全・安心なまちづくり	16
6 日常的な緊急時対策の強化	16
(1) 要援護者の把握と情報共有の仕組みづくり	16

7	日常的な防犯・防災対策の強化	16
	(1) 防犯・防災の地域組織との連携と啓発活動	16
8	災害時の要援護者対策の強化	17
	(1) 災害ボランティアセンター設置・運営体制の整備	17
基本目標3 活力あふれるまちづくり		18
9	こころと体の健康づくり	18
	(1) 高齢者の生きがいつくり事業	18
10	地域交流の促進	19
	(1) 三世代交流の推進	19
	(2) レクリエーション用具貸出事業	19
11	地域で福祉活動をする人材の育成	19
	(1) 認知症地域支援事業	19
	(2) 多様な地域福祉活動の人材育成と活動推進	20
基本目標4 福祉サービスが充実したまちづくり		20
12	相談支援体制の充実	20
	(1) 権利擁護センターの運営及び権利擁護の充実	20
	(2) 法人後見事業の実施	24
	(3) 福祉総合相談センター事業	24
13	地域福祉活動への支援	26
	(1) 地域子育て支援の充実	26
	(2) 地域での自立生活支援の仕組みづくり	31
14	自立を支える体制基盤づくり	32
	(1) 障がいのある子どもの学習と体験の充実	33
	(2) 認知症の人や家族を支える仕組みづくり	33

(3) 高齢者・障がい者等への支援	34
(4) 高齢者・障がい者の移動支援	36
(5) 地域包括支援センター事業の受託（市受託事業）	37
(6) 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託事業）	41
(7) 赤い羽根共同募金運動の推進	42
(8) 歳末たすけあい事業	42
(9) 介護保険法・障害者総合支援法による指定事業への取り組み	43
(10) 「苦情解決」相談窓口の設置	47

基本目標5 津山市社会福祉協議会の組織体制の充実・強化 47

15 組織体制の充実・強化	47
(1) 津山市社会福祉協議会の計画的な発展強化への取り組み	47
(2) 発展強化計画の実施	47
(3) 津山市社会福祉協議会会員の加入促進	48
(4) 組織内各種会議の充実	49
(5) 法人の使命と社会的責任の強化	49
(6) 施設の管理経営	49
16 広報の充実・強化	55
(1) 広報活動の充実	55
17 事業評価の実施	56
(1) 事業評価制度の実施	56

令和3年度 津山市社会福祉協議会事業報告

津山市では、少子高齢化の進行による人口構成や家族形態、また、経済情勢や雇用環境の変化等を背景に、あらゆる世代にわたって、ひきこもりや社会的な孤立の問題、多発する災害への備えや発生時の対応、長期化している新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済的困窮、つながりの希薄化など、新たな福祉・生活課題が生じています。このような状況を受け、生活困窮自立支援や子育て支援をはじめ、地域包括ケアシステムの構築や成年後見制度利用促進の取り組み等が進められています。

こうした現状を踏まえて、津山市社会福祉協議会が多くの方々と協働・連携することにより取り組みを進めていくための羅針盤として、津山市の第2次地域福祉計画との一体的な計画である第6次地域福祉活動計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、その1年目として計画に基づき行政とのより強固なパートナーシップのもと、地域住民をはじめ、ボランティア・NPO、関係機関・団体、民間企業、民間事業者等、分野をこえてより一層の協働・連携を図ることで、既存の事業の見直しや拡充を図っていくとともに、住民主体の原則のもと、地域を基盤とした新たなサービスの開発や、支援を必要とする人も一緒に参画できる地域の居場所づくり・出番づくりに向けての取り組みなど様々な取り組みを進めてきました。

そのなかでは、津山市権利擁護センターで、成年後見制度利用促進に向けた中核機関機能の一部を受託し、制度利用が必要な方に対し、本人の意思を尊重した適切な生活支援・法的支援につながるよう努め、生活支援体制整備事業の受託事業をはじめ、様々な関わりを活かした福祉ニーズや社会資源の把握や、把握した情報の整理・提供、また協働・連携による新たなサービスによる課題解決に向けて、これまでのネットワークを活かすことに加えて、新たなネットワークづくりにも取り組み、制度等の狭間で困窮する人々を地域で発見し、支え合いの仕組みをつくっていく身近な地域のつながり・支え合い活動のネットワーク活動をシステム化していく津山版地域包括ケアシステムを推進するとともに、こうした活動を広く共有・発信するため様々な形での情報発信などの取り組みを継続的に進めました。

◎ 第6次地域福祉活動計画による基本目標

1 みんなで支え合うまちづくり

P, 2

地域住民が、心豊かな生活を送ることができるように、地域みんなで支え合い・助け合いの意識づくりと基盤整備に取り組みました。また、各施策が補完し合い、総合的な医療・保健・福祉サービス等が提供できるように、地域住民・団体、ボランティア・NPO、関係機関・団体、社会福祉法人、民間企業、民間事業所、行政等の密接な連携・協働の体制の構築に取り組みました。

2 安全・安心なまちづくり

P, 16

お互いさまの意識による、日常的な地域の見守りや支え合い・助け合い等のつながりを活かした福祉のまちづくりと、地域における防犯・防災のまちづくりとの連携・協働に取り組みました。

3 活力あふれるまちづくり P, 18

地域住民が、健康で生きがいに満ちた生活を送れるよう、生きがいつくりや居場所づくりを進めるとともに、自分の能力を活かしながら地域で活躍できる人材の育成・支援に取り組みました。

4 福祉サービスが充実したまちづくり P, 20

高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者、ひきこもりの人等が、地域社会の中で安心して暮らしつづけられるよう、必要な情報が効果的に得られる仕組みの整備や地域住民・団体、ボランティア・NPO、関係機関・団体、行政等と連携して自立を支える相談体制の充実に取り組みました。

5 社協の組織体制の充実・強化 P, 47

住民主体を原則とした地域福祉を推進する中核的団体として位置付けられている津山市社協として、地域の期待に応えられるように、組織体制の充実・強化、財源の確保・充実、福祉拠点の管理・運営、広報活動、計画の推進管理等に取り組みました。

※ 上記を基本目標等とし、以下の実施事業に取り組みました。

I 実施事業

◎ 実施計画

■ みんなで支え合うまちづくり (基本目標 1)

1 地域で支え合う意識の醸成

地域の状況把握と教育や啓発活動、体験活動などさまざまな機会を通じて、一人ひとりの特性や違いを認め合う相互理解の促進と福祉のこころの醸成を図りました。

(1) 住民福祉座談会の開催

①座談会の開催

福祉情報の提供や社協会費、共同募金、事業等の説明や、第6次地域福祉活動計画の1年目として、地域との連携により新型コロナウイルス感染防止に努めながら実施しました。また、これまで座談会が未実施であった地域での地域資源・課題や地域でできていること・できることを考えるためのグループワークなどを実施しました。

②福祉調査活動の実施

ふれあいサロンや小地域ケア会議、地域住民主体の会議等へ職員が出向き、ヒアリングや意見交換等を実施するなど、地域の状況や動向を調査しました。また、子育て支援等についても円滑な事業実施に向けて、利用者等へのアンケート調査も実施しました。

(2) 地域共生社会の実現に向けた福祉共育（教育）の充実

①福祉テキストの作成とその活用

今後の福祉教育の展開のために福祉テキストを作成し、学校での福祉教育がより充実・深化するように、市内の全小中学校へ配布を行いました。また、福祉テキストの活用状況等についてアンケート調査を行いました。

②新たな福祉共育（教育）プログラムの開発

高齢や障がいがあっても、同じ地域の仲間として考え、実践していくための新たなプログラムについて検討を行いました。

③福祉機材の活用

・印刷機等福祉機材の整備及び貸出

④福祉図書の貸し出しの実施

地域住民から津山市社協への寄付申し出の機会を活かして、DVD等の充実に努めました。

⑤福祉教育推進校の指定事業（活動助成・連絡会の開催）

市内小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象として、福祉課題とのかかわりと学習を通じ、豊かな人間性と社会福祉に対する理解と関心を高めるとともに、地域社会への啓発を図ることを目的として取り組みました。また、コロナ禍で実施ができなかった後期連絡会に替えて、次年度以降の事業実施に向けて、アンケート調査を行いました。

＜実施状況＞

指 定 校	令和3年度	令和2年度	増 減
小学校〈校〉	20	20	0
中学校〈校〉	0	0	0
高等学校〈校〉	1	2	△1
合 計〈校〉	21	22	△1

※ 指定校の助成額は年間13,000～40,000円、指定校は公募審査により決定。

⑥福祉教育推進校事業実施連絡会（報告会）の開催

指定校ヒアリング及び事業連絡会

＜実施状況＞

区 分	開 催 場 所	日 程
ヒアリング	津山市総合福祉会館	5月26日 13:00～17:30
事前連絡会（説明会）	津山市総合福祉会館	6月24日 15:45～16:45
事後連絡会（報告会）	津山市総合福祉会館	コロナウイルス感染防止のため中止

・福祉教育推進事業報告集の配布 42部

市内の全ての学校及び教育委員会に対して配布し、事業の啓発・普及に取り組みました。

⑦出前福祉体験教室

車椅子・手話・アイマスク・介助等の体験や学習を通じて、福祉課題をより身近なものとして考え、自らも地域社会の一員であるという意識を高めることによって社会福祉に対する理解・関心を深め、豊かな人間性を育むことを目的に実施しました。また、様々な視点で物事を見る力を持つことで、相手の立場に立ち、

社会の中で支え合い「共に生きる」意識を育むための取り組みを実施しました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
車椅子体験			
小学校(校)	19	18	1
地域(箇所)		1	△1
参加者(名)	554	717	△163
手話体験			
小学校(校)	16	14	2
参加者(名)	505	389	116
視覚障がい者・点字			
小学校(校)	20	21	△1
参加者(名)	692	689	3
認知症・介護体験			
小学校(校)	4	6	△2
参加者(名)	107	151	△44
合 計			
学校・地域(箇所)	59	59	0
参加者(名)	1858	1946	△88

その他にも、津山市内の中学生66名に対して、高齢者の特徴についての講話および高齢者疑似体験セットや車イスを活用した体験教室を行いました。

さらに、人権学習として津山市内の高校生350名に対して、高齢者の人権について講演、啓発を行いました。

⑧夏のボランティア体験事業

高校生対象

例年、ボランティア体験期間中(7～8月)に施設体験と利用者とのふれあいを通じて福祉への関心と自分の生き方を考える場として、美咲町・鏡野町社会福祉協議会と協力して開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染の影響から高校生のみの実施となりました。

また、事業終了後には報告書を作成・配布することで、参加した学生、学校、施設、団体の皆さんが活動や事業の振り返りを行い、普段の生活や今後の活動に活かせるような機会の提供を行いました。

《実施状況》

区分	日時	参加者	場所	備考
事前研修会 (本所)	7月10日(土)午前・午後	高校生	総合福祉会館	受入施設・団体26カ所 参加者：207名
	7月12日(月)午後			

中学生対象

昨年度同様、ボランティアについて考える機会を提供するため、美咲町社会福祉協議会と協力し制作したボランティア学習動画「ボランティアスクール」をホームペー

ジで公開し、動画を視聴のうえ感想文を提出した中学生に対し修了証を発行するなど、コロナ禍に対応した夏のボランティア体験事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ボランティア体験が困難となった高校生に対しても、実施しました。

《実施状況》

タイトル	時間 (分)	出演	内容
1時間目 「ボランティアってなに？」	25	・NPO法人 ファミリーリングあゆむ 理事長 飯田 純子 様 ・岡山県美作高等学校 福祉医療コース	・高校生と学ぶボランティアとは
2時間目 「自分に合ったボランティア」	10	・ボランティア活動実践者 智和 譲 様 ・美作大学ボランティアセンター	・ボランティア活動者へ聞いたボランティア活動の内容ややりがい、きっかけなど
3時間目 「相手の立場に立ったボランティア」	25	・特別養護老人ホーム高寿園 ・白寿荘	・ボランティアのイメージをつかもう ・先輩職員さんから聞いたボランティアの魅力
4時間目 「ボランティアをしたい!と思ったら」	5	・津山市社会福祉協議会 ・美咲町社会福祉協議会	・社会福祉協議会の役割

・修了証発行 市内中高生132名

⑨福祉教材の活用

・アイマスク、DVD等の整備及び活用

2 津山版地域包括ケアシステムの推進

関係機関との連携を強化し、多様な福祉ニーズや地域課題を共有していくことで、支援が必要な方を地域全体で支え合う仕組みづくりを推進しました。

(1) 津山版地域包括ケアシステムの構築

①保健・医療・福祉等の関係機関・団体、行政等との連携

保健・医療・福祉等の関係機関・団体、行政等と協議・連携して、具体的なシステムや体制構築に向けた取組みを進めました。

②地域包括ケア会議の構成団体等の拡充

障がい者、子ども、生活困窮者、権利擁護等の地域課題やニーズに応じて、関係機関・団体、民間事業者、NPO団体、行政等、地域包括ケア会議の構成団体を検討し、メンバーの拡充を図る様取組みを進めました。

③地域包括ケア会議と小地域ケア会議、地域ケア個別会議、協議体との連動

地域包括ケア会議が、小地域ケア会議と地域ケア個別会議から見えてきた地域課題

の検討・協議が行える場となるように連携体制を検討しました。

④民間事業者との連携強化

ライフライン事業者や配達事業者、金融機関等の民間事業者と津山市が見守り協定（つやま見守ろうねット）の締結を通して、連携の強化を図りました。

⑤小地域ケア会議の設置・開催への協力

⑥地域のネットワークづくり

(2) 社会福祉法人等の地域における公益的な取組みとの連携

①地域における公益的な取組みとの連携

②地域課題の共有解決に向けた連携協議の場づくり

社会福祉法人の地域における公益的な取組みとの連携を図るため、市内の社会福祉施設連絡会と課題や実情を情報共有しながら、連携した取組みを実施しました。

- ・子育て支援に関する取組みでの連携（地域版親子ひろばすくすく）
- ・生活困窮世帯の支援に関する取組みでの連携（フードバンク、生活用品バンク）

3 小地域ケア会議の推進

住民の顔が見える、身近な暮らしの圏域において、住民と専門職等とが福祉のまちづくりに向けて、話し合い、学び合い、連携し合う場を作り上げることを目指し取り組みました。

(1) 小地域ケア会議設置推進と運営支援

①小地域ケア会議の設置推進・運営支援

小地域ケア会議の開催については、連合町内会長を始め、地域の関係者へ丁寧に説明をし、継続して働きかけを行います。また、開催している支部については、関係機関・団体や行政とともに、運営の支援を行いました。

- ・小地域ケア会議及び地域福祉活動団体等の取組みの地域

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
小地域ケア会議（団体）	34	32	2

※ 対象地域は、東部エリア〔大崎(H26)・高野(H29)・広野(H30)・成名(R2)〕、西部エリア〔城西(H25)・二宮(H27)・院庄(H26)・田邑(H29)〕、南部エリア〔鶴城(H26)・佐良山(H25)・城南(H30)・福岡(R3)〕、北部エリア〔東苦田(R3)・高倉(H26)〕、中央部エリア〔東津山(H28)・城東(H26)・林田(H28)・中央支部(R1)・城北(R2)〕、加茂・阿波エリア〔新加茂(H25)・西加茂(H26)・上加茂支部(R1)・東加茂(R2)・阿波(H27)〕、勝北エリア〔広戸西(H26)・新野東(H26)・広戸東(H28)・日本原(H28)・勝加茂西(H29)・新野中央山形(H30)〕、久米エリア〔大井東(H25)・倭文東(H26)・久米(H27)・大倭(H27)〕

②小地域ケア会議交流会の開催

各支部が他支部の取組みについて関心を持っていることや、活動の活性化を図るために小地域ケア会議委員同士の交流・情報交換会・研修等を実施しました。

日 時：令和4年3月19日（土） 13：30～15：45

場 所：津山市総合福祉会館4階 大会議室

参加者：56名

内 容：行政説明 「現在の津山市の新型コロナウイルス感染症の状況」
津山市ワクチン接種推進室 主幹 安本 勝博 氏

講演 「小地域ケア会議の必要性」

講師 美作大学 生活科学部社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔 氏
実践発表

城北支部 柴田 治良 氏

東加茂支部 福見 弘 氏

成名支部 中尾 順一 氏

③小地域ケア会議職員研修の開催

津山版地域包括ケアシステムの構築に向けて行政、社協、包括が共通理解のもと、取り組みを推進していくために、小地域ケア会議に関わる行政、社協職員関係する職員等への研修を実施しました。

日 時：令和3年6月24日（木） 18：30～20：00

場 所：津山市総合福祉会館 4階大会議室
3階中会議室（ZOOM）

参加者：92名

内 容：講演 地域共生社会における小地域ケア会議の役割

講師 美作大学 生活科学部社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔 氏

④小地域ケア会議関係各課の連携会議の開催

津山市、津山市社協、地域包括支援センターが連携して取り組むために、全体研修や会議を開催し、各々の役割について再度確認し、検討を行いました。

4 地域を基盤とした福祉活動の推進

地域福祉活動を担う団体などが相互に連携しながら、地域の福祉課題の解決に向けた取り組みを推進する仕組みの構築を図りました。

(1) 地域での新たな協働・連携による生活支援サービスの充実・強化

①関係機関・団体等の情報交換会の開催

地域住民・団体、生活支援サポーターコーディネーターを置く社会福祉法人等や関係機関・団体、津山市等との協働・連携した地域づくりに向けて、情報共有などネットワークの構築に取り組みました。

②日常生活圏域における生活支援体制整備協議体の設置と開催

高齢者の日常生活の支援や、介護予防に関わる生活支援体制の整備の促進のため、「第2層生活支援体制整備協議体」の設置に向けた働きかけ等に取り組みました。

③協議体を活かした社会資源の充実と新たな社会資源の創出

地域の状況に併せて、協議体を活かした協働・連携による新たな社会資源づくりなどの検討を進めました。

④社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとの連携

社会福祉法人が実施する地域における公益的な取組みとの連携により、生活困窮世帯や子育て世帯等の福祉課題・生活課題の共有や解決に向けた取組みを進めました。

⑤民間企業・団体等の社会貢献活動の促進に向けた連携強化

民間企業等との連携により、企業の社会貢献活動から地域住民の生活課題の解決に向けた取組みを進めました。

(2) 地域福祉関係団体や支部単位の地域福祉活動団体（住民組織）との連携強化

①支部単位の地域福祉活動団体との連携強化

まちづくり協議会や住民自治協議会、地域づくり応援事業、また、その部会等と連携を図り、会議への参画などにより活動支援を行いました。

②連合町内会支部長・社会福祉協議会福祉推進会議の開催

例年、地域住民への社協会費・共同募金をはじめ、社会福祉協議会の取り組む各種事業の啓発・周知、協力依頼等、連合町内会の理解を求め推進していくことや、福祉情報の提供、推進における課題解決等に向けた協議の場として開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

③地域福祉推進関係団体と情報共有・意見交換会の開催

連合町内会、民生児童委員連合協議会、愛育委員連合会・栄養改善協議会、老人クラブ連合会等が開催している会議等に参加させていただき、顔が見える関係を構築するとともに、取組み等についての依頼・報告、情報の共有などを行いました。

④社明運動への協力支援

「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動に協力しました。

⑤関係機関・団体との連携した体制づくり

※連合町内会、民生児童委員連合協議会、愛育委員連合会、栄養改善協議会、老人クラブ連合会、福祉施設、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、精神障害者家族の会、ボランティア交流会、福祉団体、医師会、歯科医師会、公民館、職能団体、社会貢献を目指す企業・労働組合・団体、NPO法人、美作大学、弁護士・司法書士、行政機関、その他関係機関、本会構成団体等

⑥福祉団体への運営及び指定事業助成

〈実施状況〉

団 体 名	令和3年度(円)	令和2年度(円)	増 減(円)
福祉ボランティア久米	157,000	157,000	0
手をつなぐ親の会加茂	102,000	102,000	0
原爆被爆者会	23,000	23,000	0
津山しらうめの会	16,000	16,000	0
阿波ボランティアの会	41,000	41,000	0
阿波ひまわり会	50,000	50,000	0
きずな手話サークル	13,000	13,000	0
津山市身体障害者福祉協会	575,000	575,000	0
津山市手をつなぐ育成会	16,000	16,000	0

合 計	993,000	993,000	0
-----	---------	---------	---

⑦児童遊園地等補修費補助事業

地域社会での高齢者・こども・子育て世帯等への支援として、町内会と本会が設置した「赤い羽根・こどもの遊び場」や町内会が任意で設置した遊び場やグランドゴルフ場等に設置された遊具の塗装・修理、また整地のための土砂の補充を行い安全・安心な居場所づくりや生きがいくりの場の確保を行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
補修箇所（箇所）	4	6	△2

⑧赤い羽根まちづくり福祉活動

1) 住民主体の地域福祉活動支援事業

赤い羽根共同募金の特別配分を財源として、連合町内会支部・町内会を単位として、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、住民主体で運営する地域福祉活動団体（住民組織）の地域福祉活動を応援するため、公募・公開審査会により助成を行うと共に、担当職員を配置し、地域と社会福祉協議会との連携強化を図りながら活動支援を実施しました。

また、助成配分地域で取り組まれた活動について公開報告会を行うことにより、地域住民自身が今年度の取り組みにより進められた、地域での支え合い助け合い等や、新たな地域の福祉課題・生活課題の発見等について振り返りを行い、次年度以降の地域福祉活動へつなげていくことができ、さらに今後地域で福祉活動を進められようとしている助成申請希望地域の皆様も観覧され、他地域の取り組みについて情報把握し、自らの地域でどのように取り組みを進めることができるかなどを検討する機会になるなど、今後の地域福祉活動につながる助成事業として事業実施しました。

加えて、こども審査員として、市内の小中高校生に事業に参画してもらうことで、地域に対して子どもの視点から質問を行うことや、地域で行われている福祉活動を知ることで、共同募金だけでなく福祉活動へも興味・関心をもってもらうなど福祉意識の向上に努めました。また、街頭募金など赤い羽根共同募金運動へも参加してもらいました。

・助成地域数 4地域 ・助成金総額 500,000円

《実施状況》

(単価：円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成決定額
1	城東まちづくり協議会	安心安全で明るい町づくり事業	200,000
2	大手町シニアクラブ	地域日常交流会	100,000
3	下高倉西一区町内会 すみれ会	下高倉西一区町内会 にぎわい事業	100,000
4	大吉町内会老人クラブ	多世代交流	100,000
		合計	500,000

(3) ふれあいサロンの設置推進と支援

①ふれあいサロン活動啓発冊子の作成

ふれあいサロンの活動がより活発になることや、活動の良さの周知・啓発などに向けて、より分かりやすく・伝わりやすいように、啓発冊子を作成するためにヒアリン

グを実施しました。

②冊子等を活用した、ふれあいサロンの設置推進

冊子等を活用した周知・啓発により、地域の身近な場所に地域の方々が気軽に集まり、ふれあいや交流を通じて仲間づくりや生きがいつくり、また介護予防に結びつくような育成及び支援を行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
サロン数(団体)	147	153	△6
サロン参加者(名)	2,458	2,700	△242

※ 助成金は、1団体一律20,000円助成金を交付しました。

③ふれあいサロンとこけないからだ講座との連携

ふれあいサロン担当者会議の中で協議・検討しました。こけないからだ講座や他の集まり等でもふれあいサロンを周知啓発できるように、チラシを作成しました。

④ふれあいサロンリーダー研修会の開催

テーマ「今こそ繋がるう・助け合おう津山のサロン！」

《実施状況》

地 域	日 程	会 場	参加者数(名)	参加サロン(箇所)
本所	2月22日	津山市総合福祉会館	39	39
本所	2月25日	津山市総合福祉会館	46	46

＜内容＞

- ・研修「悪質業者に気をつけて ～津山の事例から～」
- 講師 津山市消費生活センター

(4) ご近所福祉ネットワーク活動の推進

ご近所同士のつながりを活かして、住民相互の支え合い・助け合い活動が行っているように、町内会の集まりやふれあいサロン、小地域ケア会議などにおいて、「支え合いマップ」や「台帳」の作成や、緊急連絡カードの設置などを推進しました。

(5) 生活支援コーディネーター事業の推進

高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし続けることができるように、「日常生活圏域の地域資源及び地域ニーズの把握」「日常生活圏域の資源開発」「生活支援サポーター等の担い手の養成・育成」「関係者間のネットワーク構築」を柱として事業を推進しました。その中で、地域住民や津山市、地域包括支援センター、社会福祉法人、民間企業などと連携し、圏域ごとのニーズや社会資源の把握から、それぞれの地域特性に応じた、様々な取り組みを検討、実施しました。

また、昨年度、作州津山商工会と生活支援体制整備第1層協議体の参画団体とで作成した「お困りごと解決チラシ」について、地域の集まりの場を訪問し、高齢者に対して周知啓発を行いました。

さらに、高齢者の個別課題から、集いの場と移動販売をコーディネートした買い物支援や、社会福祉法人等との連携・協働により、新たな社会資源の開発を行いました。

①地域ニーズと資源の把握、見える化、問題提起

住民主体の集いの場や会議、企業等へ地域ニーズや資源を把握するために聞き取り調査を行いました。その結果の整理や、集いの場をまとめることで、資源の見える化を行いました。また、把握した情報について、関係機関と共有し、課題解決に向けて検討を行いました。

1) 資源の見える化

- ・地域カルテの更新
- ・集いの場等の資源リストの作成

②多様な主体への協力依頼等の働きかけ

把握した課題の解決に向けて、地域住民をはじめ、関係機関、社会福祉法人や民間企業等へ協力を依頼するなど働きかけを行いました。

③関係者間のネットワーク構築

生活支援体制整備協議体や地域包括ケア会議（システム部会）、津山市や各圏域での地域包括支援センターサブセンターとの情報交換、各支部で開催の小地域ケア会議などを推進し、地域生活課題の検討や生活支援体制の整備に努めました。

また、ふれあいサロンやこけないからだ講座、ふらっとカフェなどの住民主体の集いの場や健康福祉まつりや公民館まつりなど、様々な地域行事に参加し、訪問活動を行う中で生活支援コーディネーターの役割や活動を説明するなど、地域との顔の見える関係づくりに努めました。

④目指す地域の姿・方向の共有、意識統一

コロナ禍で第1層生活支援体制整備協議体の開催が難しい状況ではあったが、今後の取り組みに向けて、津山市との協議や、委員長との調整・検討を行いました。

⑤生活支援等サービス開発

第2層生活支援体制整備協議体の設置に向けて、関係機関と協議を行い、津山市、地域包括支援センター、生活支援サポーターコーディネーターを置く社会福祉法人等、生活支援コーディネーターの4者をコアメンバーとして地域住民や企業等も含めながら、加茂・阿波地区、勝北地区の2地区での継続開催や、地域情報の共有や課題の検討、新たな社会資源づくりについて協議しました。

また、南部圏域において、生活支援サポーター訪問サービスのコーディネーターを配置している法人へ連携・参画の依頼を行い、地域包括支援センターや津山市担当者と協議体コア会議を開催しました。

加えて、地域ケア個別会議で把握している地域課題として特に、孤立（孤食）、入浴への不安、移動手段の確保への対応として、生活支援コーディネーターが中心となって、昨年度から継続し、津山老人福祉センターや関係機関と協働し、新たな集いの場「3金サロン」の設置のコーディネートや、勝北圏域でも既存の集いの場への参加が困難な高齢者に対して、地域住民、社会福祉法人等と協働で、新たな集いの場「よんすいサロン」の設置をコーディネートしました。

・集いの場

《実施状況》

名 称	場 所	内 容	開催日
3金サロン	津山老人福祉センター	健康体操・講話、誕生日会、レクリエーション（観劇など）	毎月第3金曜日
よんすいサロン	勝北保健福祉センター	体調確認、講話またはレクリエーション（音楽療法など）	毎月第4水曜日

⑥生活支援等サービス担い手養成・育成支援

1) 生活支援サポーターに関する相談対応と検討会への参画

市高齢介護課、生活支援サポーターコーディネーターを置く社会福祉法人等と今後の生活支援サポーター訪問サービスのあり方やサポーター活動の充実、全体的な事業展開についての説明会へ参画しました。また、昨年度同様に、コロナ禍での生活支援サポーター活動ということもあり、各法人のサポーター活動について情報交換を行ったり、サポーターや利用者への注意喚起や緊急事態宣言下での支援内容の変更や中止、再開等、個別の状況に合わせて、調整を行いました。

2) フォローアップ研修の開催

今年度はコロナ禍のため、生活支援サポーターを全員集めての集合研修は実施できませんでしたが、中央部圏域に登録されている生活支援サポーターや中央部に依頼が入り調整したサポーターを対象としてフォローアップ研修、情報交換会を実施しました。

・中央部圏域生活支援サポーターフォローアップ研修

〈実施状況〉

日時	場所	内容	講師	参加者数 (名)
9月3日(金)	津山市総合福祉会館 3階中会議室	傾聴について	美作大学 社会福祉学科 堀川 涼子 教授	9

⑦地域のニーズとサービス提供主体とのマッチング活動

民間企業・団体等と、情報交換や働きかけを行う中で、介護予防や生きがい・楽しみづくりを目的とした、地域の集いの場への新たな活動メニューの情報把握や提示につながりました。

1) メニュー内容

- ・移動販売業者
- ・メンズカーブス津山店
- ・オルゴール演奏
- ・オカリナ演奏
- ・ギター演奏

⑧生活支援サービス等の周知・啓発

移動販売業者等の民間企業や社会福祉法人等との協働した活動について、チラシを作成し、地域住民へ周知・啓発を行いました。

また、生活支援コーディネーターの活動について、社協だよりでの広報や、住民主体の通いの場として、新たにふれあいサロン活動について、市ホームページへ掲載をしてもらいました。

⑨生活支援コーディネーター事業研修等への参加

オンライン研修も活用し、国や県が実施する研修等へ積極的に参加することで、他市町村の生活支援コーディネーターとの情報交換や情報共有に努め、生活支援コーディネーターとして必要とされる視点等について学び、知識・技術の向上に努めました。

- ・研修会参加回数 24回
- ・研修会参加延べ人数 51人

⑩先進地の取り組みの情報収集等

事業研修等に積極的に参加することで、生活支援コーディネーターとしての知識・技術の向上に併せて、津山市での取り組みの充実・強化に向けて、他の先進地の取組についても情報収集を行いました。

⑪PDCAサイクルによる重点事業評価の実施

生活支援コーディネーターが日常生活圏域ごとに、地域の特色や状況に併せた事業

推進が行えるように、PDCAサイクルを用いた事業推進に取り組みました。

PDCAサイクルの内容については、市高齢介護課と3回の情報共有・意見交換を通じて、課題の達成状況や計画の進捗確認を行いながら事業の中間評価や最終評価を行いました。

《実施状況》

日 時	場 所	内 容
5月12日(水) 9:30~	市502会議室	PDCA重点実施内容確認等
11月29日(月) 13:30~	津山市総合福祉会館3階中会議室	PDCA中間評価
3月23日(水) 13:30~	津山市総合福祉会館3階中会議室	PDCA最終評価

5 ボランティア・NPO活動の促進

住民が自発的、主体的に行うボランティア活動やNPO法人等の活動が、行政・民間企業等が及ばない分野における迅速、的確、きめ細かなサービスの供給主体や地域福祉活動の担い手として成長し、機能するよう支援体制の強化を図りました。

(1) ボランティア活動センター機能の充実

①関係機関・団体等との連携強化

- ・ボランティア・NPO団体、大学、シルバー人材センター等との連携
※チャリティーマーケットへの協力（新型コロナウイルス感染防止のため中止）
- ・ふれあいスポーツ大会、ふれあい村、ふれあい作品展への協力、障がい者の日（12月9日）啓発活動
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ふれあい作品展のみの実施となった。

《実施状況》

区 分	開 催 場 所	日 程
実行委員会・運営委員会への参画	市総合福祉会館	4月19日
		7月14日
		9月15日
		3月25日
ふれあいスポーツ大会	※新型コロナウイルス感染防止のため中止	
ふれあい村		
ふれあい作品展への協力	津山市役所 市民ホール	12月6日~12月10日

②共創・協働の意識づくり

津山市ボランティア交流会をはじめ、関係機関・団体と連携し、ボランティア・NPOがお互いの活動を知り、生活課題・福祉課題の共有を行い、意見を出し合い今後の取り組みを検討する、協働の意識づくりを進めるための研修会などを実施しました。

③ボランティア活動の見える化

・ボランティア活動が、地域住民にとって身近なものとなることやボランティアへの関心を高めること、またボランティアに関心のある方へ情報がしっかりと届くように、現在活躍しているボランティアの活動を把握し、社協だより・ホームページ等の媒体を活用して、分かりやすい情報発信を行ないました。

・ボランティア活動先一覧作成・配布：夏のボランティア体験等から、「夏休み期間以外でもボランティアをしたい」「通年でボランティアに来てくれたら助かる」という声から、主に高校生、大学生を対象に夏休み期間以外でも受入が可能な福祉施設団体をまとめた一覧を作成し、生徒が通年でボランティアをしやすい仕組みをつくりました。

④ボランティア活動の普及・啓発、協働・連携による担い手の養成

・ボランティア講座（メンタルサポーター養成講座など）

・技能ボランティア（手話・点字・朗読・要約筆記）養成講座（市委託事業）

《実施状況》

区 分	期 間	講 師	実施回数 (回)	受講者数 (名)
手話奉仕員養成講座（入門課程）	毎週水曜日 (7～2月)	美作ろうあ協会	22	8
手話奉仕員養成講座（基礎課程）	毎週土曜日 (7～2月)		25	22
点字講座	毎週月曜日 (10月)	津山点字ボラン ティアサークル	1	2
要約筆記奉仕員養成講座	毎週土曜日 (7～12月)	津山要約筆記サー クル	16	6
朗読講座	毎週火曜日 (10～12月)	講師 森 くに江 氏	8	8
合 計			72	46

⑤ボランティアグループへの援助活動

津山市ボランティア交流会加盟のボランティア団体への補助金を交付するとともに、市内で活動しているボランティア団体の運営や活動に関する相談対応・助言を行いました。

1) 津山市ボランティア交流会の運営支援（加盟団体数 23団体）

コーディネーターが団体の事務局を持ち、活動の支援を行ないました。

・運営委員会：9回/年（毎月第3日曜日）

2) ボランティア活動指定事業補助金の交付

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
補助団体数（団体）	16	17	△1
（総額）（円）	(692,000)	(784,520)	(△92,520)

3) 阿波ボランティアの会（会員21名）

阿波地区の75歳以上の高齢者世帯への手づくり弁当の配食、いきいきサロン活動を実施しました。

4) 阿波ひまわりクラブ（会員13名）の育成援助

阿波地域でふれあいサロン活動、一人暮らし友愛訪問活動、ふれあい弁当、会員研修等に取り組みました。

5) 福祉ボランティア久米の育成援助（会員51名）

久米地区で託児・リハビリ・すくすく久米部門に分かれて活動しました。また、地域版親子ひろばの運営に取り組みました。

6) 手話サークル活動（加茂福祉センター）

加茂地域で手話サークルと協力し、高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」で手話教室等に取り組みました。

開催日：毎週木曜日 参加者：135名 活動回数：34回

7) ボランティア保険の加入助成、行事用保険の普及

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
ボランティア活動保険〈名〉	2,485	3,780	△1,295
ボランティア行事用保険〈件〉	151	149	△2
福祉サービス総合補償〈名〉	262	259	3

8) ボランティア集会室の運営（津山市総合福祉会館2階）、活動機材の整備・貸出

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
ボランティアグループの利用件数〈件〉	118	106	12
ボランティアグループの利用者数〈件〉	733	781	△48

9) 障害者スポーツサークルへの支援 1団体

⑥ボランティアコーディネーター業務

ボランティアならではの活動が発揮できるよう市民と市民、または市民と組織や団体をつなぐ役割に取り組みました。

1) ボランティア活動についての相談・助言・援助について

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	
相談者数〈名〉	59	39	20	
内 訳	高齢〈件〉	13	36	△23
	障がい〈件〉	28	44	△16
	子ども〈件〉	9	4	8
	その他〈件〉	9	27	△18

《登録状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	
総登録者数〈名〉	577	575	2	
内 訳	個人〈名〉	102	100	2
	グループ〈名〉	470	470	0
	〈団体〉	(45)	(45)	(0)

⑦書き損じハガキの収集

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
(総 額) (円)	146,950	98,542	48,406

■ 安全・安心なまちづくり (基本目標 2)

6 日常的な緊急時対策の強化

地域福祉の更なる推進を目的に、福祉の分野・領域を超えて、様々な立場の方々や職種が協働し、地域での支援活動を一体的に進める体制を築くために「コミュニティーソーシャルワーク機能」の強化を図りました。

(1) 要援護者の把握と情報共有の仕組みづくり

①地域における要援護者の把握と支援関係者間での情報共有の推進

住民主体による日常的な見守り、緊急時の対応、災害時の支援等の地域活動が円滑に行えるように、世帯台帳や要援護者台帳の整備を行い、関係団体等が活用できるように、地域からの申請に基づいて情報提供を行いました。

②支え合いマップ、世帯台帳・要援護者台帳等の作成

世帯台帳や要援護者台帳の整備を進めるために、支え合いマップの作成推進や他地域での台帳作成事例を用いて普及啓発に努めました。また、支え合いマップを通して、近所力を活かした住民主体による日常的な見守り、緊急時の対応、災害時の支援等の地域活動が円滑に行えるように、作成方法や、作成後の活用方法等について関係者や地域住民の方々に提案しました。

③保健福祉台帳の整備

民生児童委員連合協議会と連携し、台帳整備を進めています。併せて、登録している見守り友愛協助員の再確認を行い、ご近所での支え合い・助け合いの強化に努めました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
一人暮らし高齢者〈世帯〉	3,192	3,161	31
高齢者のみの世帯〈世帯〉	1,435	1,461	△26
友愛協助員	2,427	—	—

7 日常的な防犯・防災対策の強化

幅広く情報や課題を共有することで、地域活動を活性化させ、「地域力」の向上に結び付けることを想定し、事業を推進しました。

(1) 防犯・防災の地域組織との連携と啓発活動

①福祉目線での防犯意識の醸成と啓発

地域における世帯台帳や要援護者台帳、津山市の避難行動要支援者台帳、津山市社

協の保健福祉台帳の、各台帳の平常時からの情報共有等のあり方について検討を行い、地域ごとの見守り体制づくりへの支援を行いました。

②福祉目線での防災と災害対応についての意識の醸成と啓発

地域での防災および災害時の取り組みが、高齢者・障がい者等の支援を必要とする方への対応を含めた福祉目線での防災および災害時活動となるように、地域での取り組む機会を活用した説明に向けた検討を行いました。

③地域の先進的な防犯・防災活動の情報把握と提供

こけないからだ講座やふれあいサロン等で行っている地域での防犯啓発を、各事業とさらに連携を図り、他の場面を活用して啓発活動を行いました。

また、事業への参加などを通じて地域における先進的な取り組みについて把握することに努めました。

④安全・安心なまちづくり支援事業の推進（住民組織（自主防犯防災組織等を含む）への支援）

歳末たすけあい募金を活用し、避難訓練や見守り活動等の防犯・防災事業の活性化に向けて助成を行いました。（歳末たすけあい募金事業）

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
取組箇所（個所）	61	63	△2
（総額）〈円〉	（1,715,102）	（1,876,444）	△（161,342）

8 災害時の要援護者対策強化

日頃の見守り活動が災害時における要援護者支援につながるため、日頃より地域活動の中で様々なテーマを持ち、関連性が深い中で、地域の情報交換や課題の共有を図り、防災・福祉・環境等のテーマに応じた活動を充実させる方向で取り組みました。

(1) 災害ボランティアセンター設置・運営体制の整備

①災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施

②災害ボランティアセンターの設置運営等に関するマニュアルの見直し

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、訓練の実施はできなかったため、関係機関・団体やNPO支援センター、行政と情報共有し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの確認を行いました。

③関係機関・団体との連携強化

協働連携した災害ボランティアセンターの設置・運営に向けて、平時から顔の見える関係づくりを行うとともに、情報交換などを行い連携の強化に努めました。

- ・市や関係機関・団体との情報交換

- ・災害発生時の災害支援ボランティア活動についての啓発及び防災知識の普及

- ・令和4年1月28日（金）ライオンズクラブ国際協会336-B地区3R-1Zとの「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」を締結

④災害義援金の受付

被災者の生活再建に活用される災害義援金の受付を行いました。

平成30年7月豪雨岡山県災害義援金：1,681,790円

※地域住民からのあたたかな思いを、被災地へと送り届けました。

■ 活力あふれるまちづくり (基本目標 3)

9 こころと体の健康づくり

豊かな経験・知識・技能をもった高齢者の方が、健康で生きがいを持ち、積極的に社会参加していくことは、介護予防や認知症予防だけでなく、社会全体の活力を維持することにつながることから、高齢者の生きがいと健康づくりの場や社会参画活動の場を提供します。

(1) 高齢者の生きがいづくり事業

① 講座内容の充実

津山老人福祉センター、加茂町福祉センター、勝北福祉センターにて、閉じこもり予防、孤立防止等のための社会参加やつながりづくり、健康維持・増進等を行う場として、各種講座を開催しました。

② 高齢者が生きいきと活躍できる場づくり

高齢者が自分の趣味・特技、これまでの生活の中で培ってきた能力・知識・経験などを活かして社会参加が図られるような活躍の場づくりに努めました。

③ 講座参加者の増加に向けた周知・啓発

講座内容の見える化を図り、生きがいや社会参加につながる講座として、地域住民への周知・啓発を行いました。

④ 介護予防地域サポーター事業の実施

地域で自立した在宅生活をおくることが出来る高齢者の方々（事業対象者・要支援1・2の方）に対して、事前に登録された協力会員により、話し相手や趣味活動を通じた生きがいづくりなどの支援を行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者〈名〉	5	4	1
サポーター〈名〉	19	32	△13
(実働)〈名〉	(4)	(4)	0
利用回数〈回〉	91	87	4

⑤ 生活支援サポーター事業の実施

要支援者及び事業対象者の日常生活支援サービスを行うことにより、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進に資することを目的に取り組みました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者〈名〉	19	18	1
サポーター〈名〉	36	37	△1
(実働)〈名〉	(14)	(20)	△(6)
利用回数〈回〉	300	275	25

⑥生活支援訪問サービス協力事業所との連携

昨年度から引き続き、コロナ禍での訪問活動となったことから、生活支援サポーター訪問サービスを行う、各圏域の事業所と支援の状況について情報交換を行った。

また、圏域で生活支援サポーターの調整が困難な場合に、中央部圏域に登録されている生活支援サポーターの調整、紹介を行った。

⑦高齢者体力づくり事業

津山老人福祉センター、加茂町福祉センター、勝北福祉センターでの講座にて、健康維持・増進等に向けた講座を開催しました。

10 地域交流の促進

お互いに助け合い、地域で自分らしく安心して、生き生きと暮らしていけるまちを目指して、「地域内での世代間の交流」や「地域間の交流活性化」となるような施策を推進しました。

(1) 三世代交流の推進

①ふれあいサロンにおける三世代交流事業の推進

ふれあいサロン参加者の年齢層を広げ、三世代交流が図られるように働きかけを行いました。

②地域住民や関係機関・団体等との連携強化

愛育委員連合会や地域で子育て支援に取り組まれている関係機関・団体、地域福祉関係者等との連携により、地域での子育て世帯の孤立防止に向けて、情報共有や周知・啓発、連携の強化を図りました。

(2) レクリエーション用具貸出事業

地域福祉活動に携わるグループや団体（ふれあい交流会やふれあいサロンなど）への支援の一環として、レクリエーション用具の貸出を行い、地域住民のふれあい・交流を促進する取り組みを行いました。

11 地域で福祉活動をする人材の育成

福祉関係従事者と地域で活動する人材の育成を計画的に推進しました。

(1) 認知症地域支援事業

①認知症サポーター養成講座の開催

認知症を理解し、認知症の人やその家族を見守る認知症サポーターを一人でも増やし、「認知症になっても住み慣れた住まいや地域で心豊かに安心して生活することができるまちづくり」を目指して事業所や小学校、地域等で養成に取り組みました。

《実施状況》

区分	令和3年度	令和2年度	増減
受講者〈名〉	642	613	29

(実施回数) (年・回)	(27)	(26)	1
--------------	------	------	---

②認知症キャラバン・メイトの養成及び活動支援

養成はしていないが、認知症キャラバン・メイトの活動支援として、定期的に認知症キャラバン・メイトの代表者会議と各圏域会議を行い、情報共有や連携強化を図りました。

③認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修の開催

情報交換やスキルアップを目的とした研修・交流会を行う予定で企画をしましたが、コロナ禍のため、中止しました。

④認知症あったか声かけ模擬訓練について企画、検討会議の実施

認知症を正しく理解でき、道に迷う方の気持ちに配慮して見守りや優しい声かけをすることができることを目標に地域づくりに取り組みました。

⑤認知症カフェの普及及び活動支援

認知症カフェの普及のために、設置・運営の相談窓口の役割を担うとともに、認知症サポーターや認知症キャラバン・メイトに、カフェの立ち上げや運営スタッフとして協力を得られるよう働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染防止のため「認知症カフェ交流会」は中止としましたが、認知症カフェにおけるアクティビティ活動支援を行いました。

(2) 多様な地域福祉活動の人材育成と活動推進

①地域に必要とされる取り組みや仕組みづくりの推進

地域の福祉課題に応じて、地域で必要とされる取り組みや支え合い・助け合いの仕組みを、地域住民が主体となって取り組めるように検討・推進しました。

②人材確保に向けた地域との連携による福祉講演会・研修会等の開催

地域住民とともに講演会・研修会等を企画・開催し、地域の実情に応じた福祉活動を進めるために必要な人材の確保に取り組みました。

③地域と連携した地域での福祉活動の情報発信

津山市社協の広報媒体をはじめ、地域の発信媒体等とも連携した情報発信により、住民に身近な地域の福祉情報を地域住民へ届けられるように取り組みました。

④生活支援活動の情報共有と啓発・取り組みに向けた連携強化

津山市高齢介護課、高齢者の生活支援を行っている民間企業や介護保険事業所等と生活支援活動について、課題や情報の共有など、連携強化を行いました。

■ 福祉サービスが充実したまちづくり (基本目標 4)

1.2 相談支援体制の充実

世帯全体で複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談体制づくりを推進しました。

(1) 権利擁護センターの運営及び権利擁護の充実

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図り、支援を必要とする市民の利用に結び付くよう理解の促進に努めるとともに、認知症高齢者、知的障がい者、精神

障がい者等へ、成年後見制度、若しくは日常生活自立支援事業により市民と協働した支援を行いました。また、市民後見活動が更に広がるよう養成や育成を行うと共に、市民後見人への活動支援を行いました。

①権利擁護センターの運営

1) 運営委員会：2回開催

7月2日、11月12日

2) 支援検討部会：6回開催

4月23日、6月25日、8月27日、10月22日、12月24日、2月25日

検討件数：新規検討4件、継続検討6件、終結検討1件

3) 成年後見支援部会：12回開催

4月8日、5月6日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、1月6日、2月3日、3月3日

②権利擁護等に関する相談・訪問・支援

《相談件数》

相談受付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
実数 (人)	新規	10	8	10	10	16	6	14	5	15	12	8	13	127
	継続	54	54	54	52	52	57	53	58	56	59	62	59	54
	計	64	62	64	62	68	63	67	63	71	71	70	72	181

《対象者》

高齢者	障害者	子ども	その他	不明	計
107	64	0	8	2	181

《相談者》

本人	親族	司法	福祉	医療	地域	行政	後見人等	その他	計
13	42	3	75	25	9	19	2	1	189

《相談内容》

福祉	生活	後見	法律	虐待	住まい	その他	計
9	13	136	7	4	17	2	4

《対応実績》

対応方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	53	50	57	50	44	59	84	78	92	122	67	77	833
窓口・来所	15	11	14	21	10	12	18	6	18	11	13	23	172
訪問・同行	26	22	24	29	12	28	34	31	35	46	37	40	364
個別支援会議	13	9	10	4	11	8	11	9	11	10	6	9	111
関係機関調整	41	30	37	34	39	39	71	69	50	43	42	53	548
資料作成	16	10	3	11	7	11	26	8	12	14	11	5	134
その他	10	4	4	12	4	9	20	11	19	8	6	13	120
計	174	136	149	161	127	166	264	212	237	254	182	220	2,282

③市民後見人推進事業

1) 受任調整会議の開催

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
開催回数〈回〉	10	12	△2
検討件数〈件〉	24	34	△10
市民後見人受任可 ・新規〈件〉(変更〈件〉)	9(0)	13(0)	△4(0)
法人後見受任可〈件〉	8	10	△2

2) 市民後見人フォローアップ

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
実施回数〈回〉	10	12	△2
参加者数〈延・名〉	143	186	△43

3) 市民後見人相談事業(後見人交流会)

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
開催回数〈回〉	8	12	△4
参加者数〈延・名〉	115	21	94

4) 市民後見人への相談支援(職員による相談受付)

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
電話〈件〉	29	19	10
来所〈件〉	21	10	11
訪問・同行〈件〉	11	1	10
ケース会議〈件〉	1	2	△1
調整〈件〉	13	11	2
その他〈件〉	6	3	3
合 計〈件〉	81	46	35

5) 市民後見人登録業務

登録者選考会 令和3年12月2日

受験者数 6名 採用数 3名

試験内容 小論文及び面接

④市民後見人養成講座の開催(県受託事業)

日 程：10月5日～11月15日 7日間実施(受講時間1,770分)

受講者数：45名(津山市15名、新見市6名、美作市5名、真庭市4名、
鏡野町10名、美咲町4名、久米南町1名)

修了者：40名(津山市15名、新見市5名、美作市4名、真庭市3名、
鏡野町9名、美咲町3名、久米南町1名)

《実施状況》

No.	日 時	内 容	講 師
1	10月5日	成年後見制度概論	司法書士 小澤昭文氏
		消費者被害の実態とその対応	岡山県消費生活センター 所長 渡邊 佳苗氏
		市民後見概論	美作大学教授 堀川涼子氏

2	10月12日	成年後見制度各論	社会福祉士 安東佳美氏
		年金制度の基礎知識	津山年金事務所 金本邦忠氏
		関連法律の基礎知識	弁護士 清水弘枝氏
3	10月19日	対象者の理解①「認知症高齢者」	津山市認知症の人と家族の会 会長 藤原和江氏
		対象者の理解②「知的障害者」	美作地域生活支援センター 相談支援専門員 赤木 貴之氏
		対象者の理解③「精神障害者」	積善病院 看護師 坂手 康人氏
4	10月26日	医療保険制度の基礎知識	津山市保険年金課
		津山市の福祉制度	津山市 高齢介護課、障害福祉課
		日常生活自立支援事業	津山市社会福祉協議会
		成年後見制度と市町村責任	弁護士 竹内俊一氏
5	11月 2日	後見業務の実際① 「申立てに伴う基本的な手続き」	司法書士 福田啓吾氏
		後見業務の実際② 「就任後の財産管理の方法と実務」	岡山パブリック法律事務所津山支所 弁護士 小堺義弘氏
		後見業務の実際③ 「家庭裁判所への報告や連携」	岡山家庭裁判所津山支部 書記官 鳥落宏樹 氏
6	11月 9日	後見業務の実際④ 「身上監護の具体的な役割と業務」	社会福祉士 真木佐江子氏
		対人援助技術	社会福祉士 新名雅樹氏
7	11月15日	市民後見人等活動報告	市民後見人 眞木留子氏 専門職 福田啓吾氏 行政 津山市高齢介護課
		グループワーク (事例検討・振り返り)	コーディネーター 川崎医療福祉大学 中尾竜二氏 アドバイザー 弁護士・司法書士・社会福祉士

⑤権利擁護に関する普及・啓発

1) 令和3年度成年後見セミナー

開催日：8月19日 場 所：津山市総合福祉会館

参 加：会場30名 オンライン50名

テーマ：地域ネットワークで「住まい探し」の解決を目指す

プログラム 講演「家探しの現場から」

講師 NPO法人おかやまUFE 副理事長

阪井土地開発株式会社 代表取締役 阪井 ひとみ 氏

パネルディスカッション

コーディネーター 愛媛大学法文学部 教授 鈴木 静 氏

コメンテーター 阪井土地開発株式会社 代表取締役 阪井 ひとみ 氏

パネリスト 岡山県宅地建物取引業協会 津山支部

有限会社三都不動産 代表取締役 中村 豪 氏

特定相談支援事業所あすなろ

相談支援専門員 高森 学 氏
 岡山パブリック法律事務所津山支所
 弁護士 小堺 義弘 氏
 津山市都市建設部管理課 主幹 灰原 佳典 氏

2) 地域における普及啓発活動の実施
 権利擁護に関する講話 6回

(2) 法人後見事業の実施

本会が法人として成年後見人等を受任し、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が不十分な方の財産管理、身上保護支援を行いました。

1) 成年後見事業の実施

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
後 見〈件〉	19	14	5
(新規受任)〈件〉	(5)	(7)	(△2)
(終了)〈件〉	(1)	(5)	(△4)
保 佐〈件〉	8	6	2
(新規受任)〈件〉	(2)	(1)	(1)
(終了)〈件〉	(0)	(1)	(△1)
補 助〈名〉	4	1	1
(新規受任)〈件〉	(3)	(1)	(2)
(終了)〈件〉	(1)	(0)	(1)
合 計〈名〉〈件〉	31	21	10
(新規受任)〈件〉	(10)	(9)	(1)
(終了)〈件〉	(2)	(6)	(△4)

※受任件数：23件（認知症高齢者14件、知的障がい者4件、精神障がい者5件）

活動回数：288件

2) 法人後見運営委員会の開催

本会の後見業務の実施あたり、受任の適否の判断や後見業務の指導により適正な後見業務を担保するための機関として法人後見運営委員会を設置し、開催しました。

開催回数 年12回（成年後見部会と兼ねて開催）

(3) 福祉総合相談センター事業

①福祉総合相談、心配ごと相談（4か所、毎月1回開催）

住民の生活課題解決や地域の福祉力を向上することを目指し取り組みました。

1) 福祉総合相談・心配ごと相談

民生委員児童委員活動と連携し、住民の暮らしに関する様々な相談窓口・橋渡しの相談所を中心部に1カ所、また旧町村に相談所を開設しました。

・総合相談事業全体

《実施状況》

区 分	開 催 日	令和3年度	令和2年度	増 減
-----	-------	-------	-------	-----

		日数 (件数)	日数 (件数)	
福祉総合相談 (本所)	毎月第2水曜日	10 (1)	10 (4)	0 (△1)
心配ごと相談 (加茂・阿波)	毎月第2水曜日	9 (1)	11 (1)	△2 (0)
心配ごと相談 (勝北)	毎月第3木曜日	8 (0)	10 (3)	△2 (△3)
心配ごと相談 (久米)	毎月20日	8 (5)	10 (4)	△2 (1)
合 計		35 (7)	41 (12)	△6 (△5)

・相談利用者数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
来所 (名)	7	11	△4
電話 (名)	0	1	△1
再来 (名)	0	0	0
合 計 (名)	7	12	△5

・福祉総合相談の状況 (全体集計)

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
生 計 (件)	0	1	△1
年 金 (件)	0	0	0
就業・生業 (件)	0	1	△1
住 宅 (件)	0	0	0
家 族 (件)	1	1	0
結 婚 (件)	0	0	0
離 婚 (件)	0	1	△1
健康・衛生 (件)	0	0	0
医 療 (件)	0	0	0
精神衛生 (件)	0	0	0
人権・法律 (件)	0	2	△2
財 産 (件)	2	4	△2
事 故 (件)	0	0	0
児童福祉・母子保健 (件)	0	0	0
教育・青少年 (件)	1	0	1
心身障害児・者福祉 (件)	0	0	0
母子・父子福祉 (件)	0	0	0
老人福祉 (件)	0	1	△1
苦 情 (件)	1	1	0
介 護 (件)	0	1	△1
そ の 他 (件)	3	3	0
合 計 (件)	6	16	△10

②津山市介護者の会愛の電話相談 (相談員：介護者の会相談員)

・開催日時：毎月第3月曜 13:00~15:00、開催日数：7日間、件数：50件

③認知症介護家庭じっくり電話相談 (認知症の人と家族の会相談員)

・開催日時：毎週2・4火曜日 10:00~11:30、開催日数：18日間、件数：68件

1.3 地域福祉活動への支援

核家族化の進行や働き方の変化により、孤立や不安・悩み解消に向けた支援が求められています。また、生活上の困難に直面している方に対し、地域において自立した生活が行えるよう、一人ひとりの状況に応じた自立相談支援の仕組みづくりに取り組みました。

(1) 地域子育て支援の充実

①親子ひろば「すくすく」の充実

子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、子育ての孤独感、負担感の解消を図り、市内の地域子育て支援センターとの連携による子育て支援の充実に努めました。

②地域版親子ひろば「すくすく」の充実 市内3か所（勝北・久米・佐良山〈さら楽〉）

子育て家庭の親子の交流促進や地域とのつながりを促進する取り組みに向けて、協働しているボランティア・民生児童委員・愛育委員との課題共有や協議を行いました。

また、子育て支援センターや社会福祉法人の公益的な取り組み、さらには子育て支援に関する関係機関・団体等との連携により、多くの方が気軽に利用・相談できるように内容の充実を図り、利用者の増加を目指し取り組みました。

1) 地域版親子ひろば「すくすく久米」

地域版の親子ひろばとして、地域のボランティア等の方々の力をお借りして取り組んでいます。第1火曜日は、子育てほっとサロン、第3火曜日は出前保育（久米こども園）と合同で実施しています。

・開催日：毎月第1・3火曜日、場所：久米保健センター

・イベント：「うた♪うたう会」季節の歌を歌う 12月21日

*5月18日、6月1日・15日、8月17日、9月7日・21日、2月1日・

15日、3月1日は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者〈名〉	263	236	27
(利用組)〈組〉	(123)	(102)	(21)

2) 地域版親子ひろば「すくすく勝北」

地域版の親子ひろばとして、地域のボランティア等の方々の力をお借りして取り組んでいます。

・開催日：毎月第2・4火曜日、場所：勝北保健福祉センター

・出前保育：「勝北風の子こども園」10月8日

※5月25日、8月10日・24日、9月14日・28日、1月25日

は新型コロナウイルス感染防止のため中止。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者〈名〉	118	223	△105

(利用組) 〈組〉	(50)	(103)	(△53)
-----------	------	-------	-------

3) 地域版親子ひろば「すくすく佐良山」

地域版の親子ひろばとして、地域のボランティア等の方々の力をお借りして取り組んでいます。

・開催日：毎月第4火曜日、場所：津山老人福祉センター「さら楽」

・さら楽 休館：5月16日～31日・8月20日～9月30日

・出前保育：「津山・乳児保育園」6月22日

「倭文保育所」7月20日

「城北保育園」7月27日

「勝北風の子こども園」8月3日

「久米・KOKKO 保育園」10月26日

「みどりの丘保育所」11月16日

「やよい子育て支援センター」12月21日

・イベント：「すくすくスタッフ」4月27日、3月22日

*5月25日、8月24日は、新型コロナウイルス感染防止のため中止

(かき氷・ホットケーキ中止)

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者〈名〉	29	126	△97
(利用組) 〈組〉	(12)	(56)	(△44)

③おめでとう訪問事業の実施

愛育委員・栄養委員によるおめでとう訪問を通して、保護者に子育てに関する情報を提供するとともに、身近な相談・ニーズキャッチ機能として、地域とのつながりづくりを進めました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
訪問件数〈名〉	368	401	△33

④子育て支援関係者会議の開催

相談者の課題や相談内容を的確に把握し、関係機関・団体、行政等と連携を図りながら支援します。また、子育て家庭や子どもが抱えている福祉課題・生活課題を解決するため、関係機関・団体、行政等との必要な事業を検討しました。

⑤子育てに関する講習やイベントの実施

子育て家庭が不安や悩みを解消できるよう、親同士・子ども同士の交流の場づくりや親子で参加できる講習・イベントを開催しました。

⑥「ミニまぐ」による地域の子育て関連情報の配信（随時更新）

現在活用している「ミニまぐ」をPRし、ボランティア・NPO、関係機関・団体、行政等から子育てに関する様々な情報を収集し、定期的に配信します。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
登録者数〈名〉	458	428	30

⑦親子ひろば「すくすく」事業受託（市受託事業）

1) 親子ひろば「すくすく」

0～3歳（年度末の3月31日）未満のお子さんと保護者の方が気軽に集う場として、親子ひろばを開設し運営しています。

・開催日：毎週月～金曜日（土・日・祝日休み）

・場所：津山すこやか・こどもセンター 3階 多目的スペース

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者〈名〉	7,502	8,492	△990
(利用組)〈組〉	(3,390)	(3,890)	(△500)

*新型コロナウイルス感染防止のため、5月17日～閉鎖、6月21日再開
8月20日～閉鎖、10月1日再開

*令和3年4月5日 利用者9万組達成

*人気イベントは人数制限を設け実施

2) おはなしタイム

・毎月2回開催

・第2水曜日0歳児は利用者からの要望で、13:30～14:30に変更

第3水曜日1・2歳児 10:30～11:30

・スタッフとあそぼう

絵本の読み聞かせ・手遊び・ふれあい遊び・パネルシアター・エプロンシアター・ペープサート・ふれあいトーク・製作。

《実施状況》

No.	実施場所	日 時		内容
		日 付	時 間	
1	すくすく	5月12日	13:30～14:30	Baby Ippoベビーマッサージ
2		10月13日		
3		2月9日		
4	すくすく	7月14日	10:30～11:30	おかやまCOOP
5		3月9日		

3) Photoアート週間

毎月その季節に合ったアートをスタッフが準備して、子どもさんの可愛い寝顔アートを撮影しました。

4) なかよし・ふたごちゃんデー

妊婦さんや4歳以上の未就園児親子や双子を子育て中の家族の支援のために、児童館休館日に合わせて月1回午前中（9:30～12:00）開催（第4月曜日）

（10:30～スタッフと遊ぼう）

《実施状況》

No.	実施場所	日 時		内容
		日 付	時 間	
1	すくすく	7月26日	10:30～11:30	丸いす作り
2		2月28日		
3	すくすく	12月20日	10:30～11:30	栄養士さんのお話

⑧親向け講座の開催 毎月1回開催

1) 親向け講座

《実施状況》

No.	実施場所	日 時		参加内容	組人数	
		日 付	時 間			
1	中央消防署	4月22日	10:30~ 11:30	第1回消防署見学	9組24人	
2	すくすく	5月7日	10:30~ 11:30	わらべうた& おしゃべり会	11組24日	
3	美作大学	6月5日	10:30~ 11:30	第1回ふれあいパー クミまさか	中 止	
4	美作大学	7月3日	10:30~ 11:30	第2回ふれあいパー クミまさか	26組	72名
5	すくすく	8月4日	10:30~ 11:30	親子deピラティス	9組	20名
6	すくすく	9月29日	10:30~ 11:30	親子体操	中 止	
7	すくすく	10月27日	10:30~ 11:30	親子deリトミック	10組	20名
8	中央消防署	11月9日	10:30~ 11:30	第2回消防署見学	10組	27人
9	津山市総合 福祉会館	12月17日	10:30~ 11:30	クリスマス会	22組	46名
10	すくすく	1月17日	10:30~ 11:30	親子体操	10組	21名
11	津山市総合 福祉会館	2月3日	10:30~ 11:30	まめまき会	22組	47名
12	すくすく	3月4日	10:30~ 11:30	UNOKYO~右脳教育~	10組	22名

⑨すくすく支援ボランティアの育成

⑩子育て便利情報の提供（PC活用して情報発信サービス実施）

⑪自主活動グループの支援

⑫おかやま県北ちやいんどネットワークへの参加

⑬みまさか子育てカレッジへの参加

⑭親子クラブへの支援

地域の子育て機能の充実を図ることを目的に、乳児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流を図ることや、ボランティアを活用して育児相談等を行う場所提供等地域主体で取組む親子クラブに対して助成を行いました。（1クラブ2万円/年）

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用者（クラブ）	9	8	1
（利用組）〈円〉	（180,000）	（160,000）	（20,000）

《実施状況》

No.	団体名	主開催場所	参加(名)	主な活動
1	東津山チューリップクラブ	東公民館他	19	出張保育、季節行事、施設見学等
2	一宮ラッコクラブ	一宮公民館他	19	出張保育、施設見学、クリスマス会等
3	高野元気組	高野公民館他	48	出張保育、ピクニック、季節行事等
4	田邑ちびっこ学級	田邑公民館他	19	水遊び、芋ほり、イチゴ狩り、読み聞かせ等
5	成名なかよしkid's	成名公民館他	8	出張保育、ピクニック、水遊び、季節行事等
6	大崎ゆりかご会	大崎公民館他	22	出張保育、芋ほり、タッセル作り、プラントハンガー作り等
7	広野ひまわり市民学級	広野公民館他	54	季節行事、工作、苺狩り等
8	西苫田アクティブkids	市内公園他	33	ピクニック、ボン菓子体験、野菜作り等
9	佐良山つくしクラブ	佐良山公民館	9	読み聞かせ、おやつ作り、マジックショー、季節行事等

⑮子育て器具貸出事業

出産間もない家庭の一時的な経済的負担の軽減と、子どもの成長に伴って不用となる器具のリサイクルを図ることを目的に、子育て器具貸出し事業を行いました。

・子育て器具の数量と貸出件数

《実施状況》

区分	令和3年度 貸出件数(保有数)	令和2年度 貸出件数(保有数)	増減
ベビーベッド(件(個))	73(77)	85(69)	△12(8)
ベビーバス(件(個))	19(23)	28(17)	△9(6)
ベビーカー(件(個))	41(56)	44(55)	△3(1)
チャイルドシート(件(個))	138(190)	164(182)	△26(8)
ジュニアシート(件(個))	36(46)	31(38)	5(8)
その他(件(個))	128(116)	126(119)	2(△3)
合計(件(個))	395(508)	478(480)	△83(28)

※その他の子育て器具は、スケール、クーハン、ベビーゲート、ハイローチェア、歩行器、バウンサー等

⑯母子寡婦福祉会への援助

バス旅行、運動会、新入学児童への助成金の交付等を実施していたが、新型コロナウイルスの影響により、母子会役員会にて検討を重ねたが実施を見送ることとなった。

また、時代変遷に合わせて会の様相も変わっているため、現状に合った活動内容に合わせた支援に向けて、代表者との調整・検討を継続的に行っており、今後の支援につなげていくこととした。

⑰交通遺児への激励金の支給

交通事故により保護者を失った児童生徒に対して、児童の健全な育成と福祉の増進を目指し、激励金を支給する。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
激励金〈円〉	100,000	120,000	△20,000
中学生〈名〉	3	4	△1
小学生〈名〉	2	2	0

⑩津山市妊産婦訪問員派遣事業（市受託事業）

妊娠中及び出産後、心身の不調等によって子育てに支障がある、または多胎児を出産後、家事や子育ての負担の軽減を図る必要がある養育者に対して、訪問ヘルパーを派遣し家事に関する支援、育児に関する支援を行いました。

〈実施状況〉

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
対象者〈名〉	3	1	2
（訪問回数）〈回〉	（17）	（15）	（2）

(2) 地域での自立生活支援の仕組みづくり

①フードバンクの充実

人も食べ物も救うことができるという、新しい「食のリサイクル」事業として、また生活困窮者への食糧支援として、フードバンク事業に取り組みました。

・フードバンク食品取扱量

〈実施状況〉

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
相談件数〈件〉	147	132	15
（利用者数）〈名〉	（88）	（82）	（6）

・関係機関・団体等との連携

食品確保については、フードバンク岡山・津山を拠点として活動するNPO法人や、市内の社会福祉法人の地域における公益的な取組みと連携を図り、食のリサイクルとして生活困窮者・世帯への支援へつながるように努めました。

支援については、生活困窮者・世帯の状況を把握しながら、自立へ向けた支援を行うため、DV被害者支援団体、被虐待児童支援団体、障がい者支援団体、相談窓口設置団体、児童施設、児童授産施設、学童保育施設、行政などの関係機関等と連携・協働することで、生活困窮者・世帯が自立した生活がおくれるように支援を行いました。

※ フードバンクの取り扱い種類は、野菜・かんきつ類、穀類・穀物加工食品、レトルト食品、パン類、菓子類、めん類、調味料、清涼飲、その他の食料品です。

②生活用品バンクの検討

地域住民の自宅に不用となっている衣類、紙おむつ、タオル等の生活用品の寄付を受け、必要としている人に提供できる体制についての検討と試行的な実施を行いました。

また、社会福祉法人の公益的な取組みとも連携し、保管場所の確保に努めました。

・生活用品バンク品物取扱量（令和3年度実績）

〈実施状況〉

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
相談件数〈件〉	8	21	△13
（利用者数）〈件〉	（8）	（15）	（△7）

・関係機関・団体等との連携

生活困窮者・世帯の状況を把握しながら、自立へ向けた支援を行うため、DV 被害者支援団体、被虐待児童支援団体、障がい者支援団体、相談窓口設置団体、児童施設、児童授産施設、学童保育施設、行政などの関係機関等と連携・協働することで、生活困窮者・世帯が自立した生活がおくれるように支援を行いました。

※生活用品バンクの取り扱い種類は、衣類、紙おむつ、タオル、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、その他の品物です。

③自立相談支援センターとの連絡会の開催

自立相談支援センターとの連絡会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。また、生活困窮者の個の課題や現状から見えてくる地域の課題を踏まえて、既存組織等を活用し必要な事業が提供できるよう必要に応じて検討しました。

④生活福祉資金の貸付及び償還指導

低所得者や高齢者、障がい者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談援助を行うことにより、課題の解決と世帯の自立を支援する活動を行いました。

事業の実施主体である岡山県社会福祉協議会との密接な連携のもと、貸付金を必要とする市民の相談対応および支援や償還に関する指導等を行いました。また、貸付世帯に対し訪問や面接を行い、世帯の自立を支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金に困られている方へ、情報提供や相談対応などの支援を行いました。

《実施状況》

資金の名称		相談対応件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
総合支援資金		7	0	
福祉資金	福祉費	71	0	
	緊急小口資金	10	0	
教育支援資金		12	0	
不動産担保型生活資金		0	0	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	
臨時特別つなぎ資金		0	0	
福祉金庫		0	0	
新型コロナウイルスに関する特例貸付	総合支援資金 (延長・再貸付含む)	1603	1046	552,060,000
	緊急小口資金	831	500	98,200,000
合計	令和3年度	2534	1546	650,260,000
	令和2年度	3140	2138	898,682,000

⑤福祉金庫の貸付及び償還指導（実施状況は上記へ含む）

⑥福祉金庫貸付の検討

生活困窮者の支援の現状を把握するなかで取り組み内容を検討しました。

⑦生活困窮者への自立支援ツール等検討

自立相談支援センター、ハローワーク、就労支援センター等との連携等に向け検討しました。

1.4 自立を支える体制基盤づくり

日常生活を送る身近な地域で生活する上でさまざまな不自由を感じている高齢者や障がい者などが、地域において安心して暮らし続けられるよう、生活支援にかかるサービスの充実を図るとともに、誰もが生活しやすい環境を整えました。

(1) 障がいのある子どもの体験と学習の充実

① 県北親の会ネット等関係機関との連携強化

県北親の会ネットの活動充実のため、市内や近隣市町村で活動している当事者・家族の団体への呼びかけとボランティア・NPO、関係機関・団体、行政等と連携を強化する方法について協議しました。

・定例会：毎月第2金曜日 19:00～21:00 (11回開催)

団体会員：9団体、個人会員 5名

② 当事者・家族・支援者等に向けた勉強会の開催

・研修会

5月14日 「薬師寺先生に聞いた！ぼうさいハンドブックたいむくん
～つくろうわたしのタイムライン～」

講師：美作大学 社会福祉学科 准教授 薬師寺 明子 氏

10月 8日 「希望高等学園について」

講師：希望高等学園 津山校 小林 和彦 氏

・施設見学

1月24日 クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス津山校 希望高等学園

③ 障がいのある子どもと家族のわくわく・サマー体験教室

夏休み期間中に、障がいのある子ども達へ家族とともに様々な社会参加や体験の場を提供していくことを目的に開催しました。昨年度に引き続き、コロナ禍で夏休み期間中に親子で楽しめるイベント等が中止されるなか、親子で安心して楽しめる時間を提供するため、県北親の会ネットの会員とともに企画、実施しました。

《実施状況》

開催日	体験内容	参加者(名)	スタッフ(名)
7月 31日	アート教室	21	8
8月 1日	運動教室	15	9
8月 8日	縁日体験	38	13
8月 21日	工作教室	27	12
合計		101	42

参加者：47名 増 (令和2年度より)

④ 理解啓発や障がいのある子どもと家族の将来のための研修会等の開催

県北親の会ネット等の支援者の団体からの声を聞き、障がいのある子どもの親や支援者が必要な情報を得るための研修会を企画、実施しました。

また、他の団体が主催する研修へ協力し、障がいについての理解啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかったため、次年度の協力を努めたい。

(2) 認知症の人や家族を支える仕組みづくり

① 認知症ケアパスの周知

認知症の人とその家族が、地域のなかで本来の生活を営むために、認知症の人と家族及び地域・医療・福祉・介護等の人々が目標を共有し、それを達成するための連携の仕組みとして、一昨年認知症ケアパスを作成したので、普及啓発に努めました。

1) 認知症サポーターステップアップ講座にて啓発、周知

3月7日 参加者26名

②当事者団体との連携

日頃の相談活動の中で関わった人等に、当事者団体についての広報・周知を積極的に行い、当事者団体への参加を呼び掛けました。併せて、認知症キャラバンメイトの参加等により、担い手の確保に努めました。

1) 津山市認知症の人と家族の会「おあしすの会」への援助 (会員 47名)

- ・会報誌「おあしす」の発行 年4回 リフレッシュのつどい 年3回
- ・地区の談笑会 11月29日 [勝北保健福祉センター]
- ・相談員活動の推進援助 会員宅への「認知症介護家庭じっくり電話相談」
- ・相談員研修会の実施

2月10日 「相手の話しの聴き方」

- ・美作大学と共催で実施している認知症カフェ「おあしすカフェ」の運営・協力
- ・世界アルツハイマーデー啓発行事への協力

(3) 高齢者・障がい者等への支援

①福祉用具の貸出 (在宅)

在宅で介護を必要とする高齢者並びに障がいを抱える家族のいる世帯に、福祉用具の貸出しを行いました。

- ・在宅介護用具・用品の数量及び貸出

《実施状況》

No.	区分	令和3年度 貸出件数 (保有数)	令和2年度 貸出件数 (保有数)	増減額
1	ポータブルトイレ	65件 (49個)	54件 (45個)	11件 (4個)
2	自操式車椅子	241件 (256個)	262件 (257個)	△21件 (△1個)
3	介助用車椅子	6件 (40個)	16件 (39個)	△10件 (1個)
4	リクライニング車椅子	0件 (1個)	0件 (1個)	0件 (0個)
5	歩行器	34件 (44個)	26件 (43個)	8件 (1個)
6	シルバーカー	24個 (37個)	21件 (29個)	3件 (8個)
7	介助固定バー	0件 (11個)	0件 (11個)	0件 (0個)
8	シャワーチェアー	24件 (34個)	30件 (34個)	△6件 (0個)
9	シャワートイレキャリー	1件 (3個)	1件 (3個)	0件 (0個)
10	バスアーム	6件 (5個)	3件 (3個)	3件 (2個)
11	スロープ	3件 (2個)	4件 (2個)	△1件 (0個)
12	バスボード	2件 (13個)	0件 (13個)	2件 (0個)
13	介護ベッド	68件 (97個)	63件 (85個)	5件 (12個)
14	ナーセントパット	3件 (16個)	3件 (16個)	0件 (0個)
15	浴槽台	4件 (29個)	5件 (26個)	△1件 (3個)
16	スイングアーム介助バー	0件 (11個)	0件 (11個)	0件 (0個)

17	4点支持杖	15件(29個)	11件(27個)	4件(2個)
18	松葉杖	10件(21個)	6件(21個)	4件(0個)
19	杖	5件(10個)	4件(10個)	1件(0個)
20	オーバーテーブル	3件(9個)	2件(9個)	1件(0個)
21	タッチアップ	2件(2個)	5件(2個)	△3件(0個)
合計		516件(719個)	516件(687個)	0件(32個)

②お元気ですか！さわやかテレホンサービス

一人暮らし高齢者への電話訪問を通じて安否確認と孤独感の解消を図りました。また、心身状態の異変については、関係機関と連携を取り対応しました。

・活動状況

〈実施状況〉

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
協力ボランティア(名)	13	16	△3
(利用者)(名)	(23)	(23)	0

※ 開催日内容は、総合福祉会館から毎週月・火曜日に、ボランティアの自宅からは随時、利用者の自宅へ随時電話を実施しました。

・報告研修会 年3回

・ボランティア研修

開催日：2月10日 参加者5名

場 所：津山市総合福祉会館3階中会議室

内 容：「カウンセリング場面でも用いられる相手の話しの聴き方について」

講 師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 医療福祉学部 教授 岡野 維新 氏

・さわやかテレホンサービス親睦交流会

開催日：11月5日 参加者13名

場 所：津山市総合福祉会館

・さわやか通信の発行 年6回

③在宅介護者交流事業、リフレッシュ事業(当事者の会との連携事業)

1) 津山市介護者の会への援助(会員 51名)

・総 会 5月14日(金)

・会報誌「絆」の発行 年2回 ・介護者リフレッシュのつどい年3回

・地区での談笑会

町内会長、民生児童委員をはじめ地域内の施設等、関係機関・団体とも連携しながら、地域の介護者の孤立を防ぐための繋がりづくりや情報共有等を行うため、談笑会を開催しました。

11月9日(火) 久米地区〔久米支所〕

・相談員活動の推進援助 会員宅への「愛の電話相談」

・研修会 2月24日(木)

テーマ「介護保険とらくらく介護法」

津山一般市民に向けて介護負担軽減のための研修を企画した

・ロゴマーク作成

津山市介護者の会でシンボルを作り、団結力を高めたいとの思いで役員が考案し、5月のアンケートで決定しました。意味は、「介護する人もされる人もまあるく、

仲良く過ごしてもらいたい」という気持ちが込められています。

④介護者教室事業（市受託事業）

⑤障がい者の災害時緊急支援体制整備事業

情報提供、自主防災マニュアルの作成、地域での避難訓練

⑥自立支援協議会、部会への参加と協働事業の実施

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 (回)
こども部会出席	2	3	△1
当事者支援部会出席	0	4	△4
地域生活支援部会	1	2	△1
合 計	6	9	△3

その他、自立支援協議会総会、自立支援協議会主催研修会へ出席した。

⑦おもちゃ図書館の運営

市内の就学前の心身に障がいのある子どもを対象におもちゃの貸出・遊び場の提供を津山市総合福祉会館3階「プレイルーム」で取り組みました。様々なおもちゃに接し、発達段階に応じたおもちゃを貸し出すことにより楽しく遊びながら知能の発達や運動機能回復訓練に役立てるとともに、親同士の交流の場とすることを目的に運営を行っています。本年度もボランティアグループの協力を得て取り組みました。

1) おもちゃ図書館

・おもちゃの貸出：30件

愛育委員、親子クラブ、病院、ボランティア、ふれあいサロンなどの団体や個人への貸し出しを行いました。

2) 移動おもちゃ図書館協力

・日時： 8月21日、場所：津山市総合福祉会館

⑧障がい者とボランティア社会参加促進事業

⑨介護用品支給事業

在宅で介護されている介護者の方の負担軽減のために、要介護3～5で住民税非課税世帯に対し紙おむつの支給を行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
介護用品支給対象者(名)	147	147	0

⑩勝北ひとり暮らし高齢者の会「すみれ会」への援助（会員20名）

・会員のつどい 年5回

※5・6・8・9・1・2・3月は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

⑪男のエプロン教室への支援

津山市内の55歳以上男性を対象とした料理教室及び交流事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

(4) 高齢者・障がい者の移動支援

①福祉車両貸出事業

市内在住の高齢者や障がい者に、通院や買い物、レジャー等の外出を援助することを目的として、無料で福祉車両の貸し出しを行いました。さわやか号の貸し出しにつ

いては、新型コロナウイルスの影響を受け、予定していたイベントの中止や各団体の自粛により、利用数が減った。

・福祉車両貸出状況

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
さわやか号〈件〉	9	8	1
わかくさ号(久米福祉C)〈件〉	12	20	△8
合 計	21	28	△9

②運転ボランティアの会等との移送支援の検討会の実施

支部単位の地域福祉活動団体やボランティア・NPO、移送サービス事業者への聞き取りなどにより、移動状況や移送サービス等のニーズについて情報収集・情報共有を行いました。

③巡回バス運行事業(加茂地域での巡回バスの運行)

加茂地域の住民の方々の移動手段として旧加茂地域の4地区において、周辺部と中心地を結ぶ路線を順次運行しました。(加茂地区内を週6日運行)

・路線バス運行状況

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
上加茂地区〈名〉	14	59	△45
新加茂地区〈名〉	84	236	△152
西加茂地区〈名〉	24	28	△4
東加茂地区〈名〉	0	10	△10
合 計〈名〉	122	333	△211

(5) 地域包括支援センター事業の受託(市受託事業)

①地域支援事業

1) 一般介護予防事業

- ・「めざせ元気!! こけないからだ講座」 活動回数 54回
- ・「ふらっとカフェ」 活動回数 2回

2) 包括的支援事業

・総合相談支援業務

支援を必要とする高齢者に対して、介護保険サービスにとどまらず、適切なサービス、機関または制度の利用につなげました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
来所〈件〉	956	837	119
電話〈件〉	5,170	4,494	676
訪問〈件〉	2,741	2,722	19
その他〈件〉	283	327	△44
合 計〈件〉	9,150	8,380	770

※その他で実態調査としては、940件でした。

3) 権利擁護業務

- ・成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止等

介護保険事業者対象の高齢者虐待防止研修会を12月10日に開催し、116名（会場参加51名、オンライン参加65名）が研修を受講しました。消費者被害情報のチラシを年4回作成し、消費者被害防止の啓発に努めました。

4) 高齢者虐待対応

- ・新規相談対応数 実52件（内虐待判断数 38件）
- ・継続対応件数 延1496件（新規対応含む）

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
身体的〈件〉	539	519	20
経済的〈件〉	120	84	36
心理的〈件〉	656	432	224
介護放棄・放任〈件〉	181	92	89
性的〈件〉	0	0	0
要介護施設従事者等〈件〉	0	1	△1
成年後見制度〈件〉	20	56	△36
日常生活自立支援事業〈件〉	17	9	8
老人福祉施設等措置〈件〉	9	30	△21
消費者被害〈件〉	5	8	△3
その他〈件〉	33	43	△10

5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・介護支援専門員ネットワーク

介護支援専門員同士のネットワークづくりと包括支援センターとの効果的な協働体制づくりのため情報交換会を開催しました。

開催日：11月12日、場所：津山市総合福祉会館、参加者：59名

講演：「利用者の生きている世界を理解することを目指して」

講師：美作大学生生活科学部社会福祉学科 田中 涼 氏

- ・ケアマネジャーに対する個別相談 延 890件

6) 地域包括ケア会議の運営

- ・地域包括ケア会議（本会議）は年数回開催予定でしたが、コロナ禍の影響で中止や延期となり、開催は1回となっています。
- ・システム部会では、小地域ケア会議等包括支援センターの活動状況について活動報告・進捗状況の報告及び情報共有しました。
- ・事業評価部会では、テーマを①高齢者の公共交通利用に向けた取り組み②地域で取り組む認知症支援の輸事業③元いきいき通所サービス利用終了後を考える④職員のスキルアップと4つに決めてPDCAに取り組みましたが、コロナ禍の影響を受け、規模縮小した活動となりました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
本会議の運営〈回〉	1	4	△3
システム検討部会運営〈回〉	2	5	△3
事業評価部会の運営〈回〉	2	3	△1

合 計 (回)	5	12	△7
---------	---	----	----

7) 認知症事業

- ・ 認知症地域支援推進員の配置 2名
- ・ 認知症初期集中支援推進事業「認知症初期集中支援チーム」
- ・ 認知症ケアパスの周知
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催
 実施回数 27回
 参加者 642名
- ・ 認知症あったか声かけ模擬訓練の実施
- ・ チームオレンジの整備
- ・ 世界アルツハイマーデー普及啓発
- ・ 認知症の人の活動の場づくり (本人ミーティング)
 家庭食堂 ROOF にて開催 (1回)

8) 小地域ケア会議の実施

連合町内会支部単位を基本として、地域住民と専門職が地域課題の解決を目指し活動しています。

- ・ 小地域ケア会議設置：34支部

《実施状況》

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減
東 部	大崎支部 (回)	3	0	3
	高野支部 (回)	3	2	1
	広野支部 (回)	3	3	0
	成名支部 (回)	4	1	3
西 部	城西支部 (回)	8	11	△3
	二宮支部 (回)	1	0	1
	院庄支部 (回)	5	7	△2
	田邑支部 (回)	7	9	△2
南 部	鶴城支部 (回)	0	0	0
	佐良山支部 (回)	1	4	△3
	城南支部 (回)	2	3	△1
	中央支部 (回)	2	0	2
	福岡支部 (回)	1	-	1
北 部	東苦田支部 (回)	2	-	2
	高倉支部 (回)	12	12	0
中 央 部	東津山支部 (回)	2	2	0
	城東支部 (回)	11	12	△1
	林田支部 (回)	2	4	△2
	城北支部 (回)	3	3	0
加 茂 ・ 阿 波	新加茂支部 (回)	3	3	0
	西加茂支部 (回)	2	2	0
	上加茂支部 (回)	11	9	2
	東加茂 (回)	1	2	△1

	阿波支部〈回〉	2	0	2
勝北	広戸西支部〈回〉	0	0	0
	新野東支部〈回〉	0	0	0
	広戸東支部〈回〉	0	0	0
	日本原支部〈回〉	1	0	1
	勝加茂西支部〈回〉	0	0	0
	新野中央山形支部〈回〉	0	0	0
	久米	大井東支部〈回〉	2	4
	倭文東支部〈回〉	2	3	△1
	久米支部〈回〉	3	2	1
	大倭支部〈回〉	3	4	△1
合計〈回〉		102	102	0

9) 在宅医療・介護連携の推進

10) 生活支援サービスの体制整備

- ・生活支援コーディネーターとの連携
- ・インフォーマル資源の発掘
- ・つやま見守ろうネット（見守り協定）の推進

11) 任意事業

- ・家族介護支援事業（介護おたすけ講座）

開催日：11月 9日 場所：久米公民館

内容：「アロマオイルでリフレッシュ！！」 参加者：12名

講師：なごみや 瀬島 誉香子氏

開催日：11月 11日 場所：加茂福祉センター

内容：「痛みと上手に付き合おう」 参加者：25名

講師：津山第一病院 作業療法士 平岡 秀智氏

開催日：11月17日 場所：勝北保健福祉センター

内容：「認知症の対応方法と介護体験」 参加者：22名

講師：藤原 和江氏

津山市地域包括支援センター職員 原田恭子、小林麻依

開催日：11月19日 場所：津山市総合福祉会館

内容：「適切な介護用品の選び方～排泄・歩行補助具」 参加者：8名

講師：よつ葉 前原氏 石田氏

②指定介護予防支援事業（介護予防等ケアプラン作成）

1) 予防給付対象者（要支援1、2）の介護予防ケアプランの作成

2) 介護予防・生活支援サービス事業対象者（要支援1、2、事業対象者）に対して、介護予防ケアマネジメントを実施

＜実施状況＞

区分	直 営				委 託	プラン 合 計
	訪問・面接	電話・その他	サービス担当者会議	プラン実績	プラン実績	
件数	4,710	9,427	1,093	7,978	2,036	10,014

個別地域ケア会議を年49回開催し、204名の新規利用者の自立支援に向けたサービス内容について検討しました。

3) 福祉用具の購入、住宅改修支援事業

- ・福祉用具、住宅改修支援として、理由書作成、手続きを援助 延 176件
- ・食の自立支援として、配食サービスのプラン、手続きを援助 延 5件

(6) 日常生活自立支援事業の推進 (県社協受託事業)

① 日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業)

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等、判断能力不十分な方への福祉サービス利用支援、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを実施しました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
認知症高齢者 (名)	25	12	13
(新規契約) (件)	(12)	(4)	(8)
(解約終了) (件)	(1)	(2)	(1)
知的障害者 (名)	18	19	△1
(新規契約) (件)	(0)	(1)	(△1)
(解約終了) (件)	(0)	(1)	(△1)
精神障害者 (名)	15	13	2
(新規契約) (件)	(3)	(3)	(0)
(解約終了) (件)	(4)	(2)	(2)
その他	1	1	1
(新規契約) (件)	(0)	(0)	(0)
(解約終了) (件)	(0)	(0)	(0)
合 計 (名) (件)	59	45	14
(新規契約) (件)	(15)	(8)	(7)
(解約終了) (件)	(5)	(5)	(0)

※ 契約件数：59件 (内相談件数1923件) 活動回数：703件、(認知症高齢者25件、知的障害者18件、精神障害者15件、その他1件)

② 成年後見制度との連携づくり

日常生活自立支援事業利用者で判断能力の低下がみられる方については成年後見制度への移行を進め、法律職や福祉職との連携を図った。

- 1) 日常生活自立支援事業・成年後見制度情報交換会 年10回

※コロナウイルス感染拡大予防のため2回中止

- 2) 生活支援員情報交換会 年4回

- 3) ふくしの相談会

内容：福祉・法律職等による無料の相談会を、鏡野町、美咲町、久米南町社会福祉協議会との共催で実施。

《実施状況》

区 分	月 日	場 所	相 談 者 (件)
美 咲 町	1月25日	美咲町中央保健センター	7
鏡 野 町	10月20日	鏡野町中央公民館	5
津 山 市	7月 7日	津山市総合福祉会館	11

(7) 赤い羽根共同募金運動の推進

①地域に分りやすい啓発活動

共同募金の配分金は、ふれあいサロンの運営や点訳ボランティアなど地域の福祉活動やボランティア活動の費用、学校での福祉教育の推進助成金、障がい者就労支援事業所や児童福祉施設、保育園等の車輛整備・社会福祉施設の修繕等、さまざまな民間社会福祉活動に活かされていることが、分かりやすく伝わるように啓発活動に取り組みました。

②赤い羽根共同募金プロジェクトチームの設置

より一層の募金推進を図るため、今年度も課・係にとらわれず横断的なチーム編成により、プロジェクトチームを設置し、新たな啓発活動の検討・実施や、多くの方が募金を行い易いようにグッズ募金をはじめとした、募金運動について検討・実施しました。また、グッズ募金のグッズは、一昨年度から障害者優先調達推進法に基づき、障がい者就労支援事業所への支援と市民と障がい者就労支援事業所とのつながりづくりにも配慮しながら、今年度のグッズ内容の検討・変更を行いコラボグッズとして作成しました。

③津山市の共同募金のイメージキャラクターの活用

市民への公募によって生まれた津山市共同募金委員会のオリジナルキャラクターである「たすくちゃん」と「ゆうちゃん」を活かし、赤い羽根共同募金運動や社会福祉協議会事業等の実施に併せて啓発活動を行いました。

④共同募金の使途周知の徹底

募金しやすい環境整備や活動目的別募金等の導入を検討しました。

⑤被災地の義援金募集

⑥共同募金受配団体への周知徹底

- ・受配の明示（ステッカー利用・広報掲載等）
- ・街頭啓発の実施

⑦高校生との共同募金運動

若い世代への共同募金理解啓発や、より一層の募金推進のため、岡山県立津山工業高等学校とともに街頭募金活動を実施した。活動前には事前研修を行い共同募金について理解を深めてもらい、街頭募金には総勢38名の生徒に協力いただきました。

(8) 歳末たすけあい事業

①歳末たすけあい事業

- ・低所得世帯の家屋補修事業
- ・安全・安心なまちづくり支援事業
- ・紙おむつの安価配布事業
- ・障がい者等・ボランティアふれあいクリスマス事業への助成
- ・友愛訪問活動
- ・ボランティアによる配食事業
- ・福祉団体への助成
- ・生活困窮者への支援等検討
- ・災害ボランティアセンター備蓄品購入

《実施状況》

(単価：円)

No.	在宅福祉活動	金額	説明
-----	--------	----	----

1	生活困難世帯家屋の補修材料費	181,830	材料費(3世帯)
2	在宅介護者への紙おむつの支給	1,726,600	在宅介護者への紙おむつ安価配布 (494世帯)
3	障害者・高齢者ふれあい事業	115,000	市内3ボランティアグループ
4	安全・安心なまちづくり支援事業	1,709,474	自主防災防犯組織への助成金(61件)
5	ふれあい配食事業	163,624	新型コロナに負けるな!“孫心”届け 隊プロジェクト 阿波・勝北ふれあい配食事業
6	その他の地域福祉活動	1,634	一人暮らし高齢者交流会 バリアフリーコンサート(中止)
7	防災備品購入費	91,043	
8	事務経費	52,190	
9	県共同募金会へ送金	1,693,800	次年度歳末へ繰越
合 計		5,735,195	

1) 家屋補修協力業者

建設労組津山支部、カワイハウスカワイ会、(株)妹尾建設、建設労働組合苫田支部、
(株)ニーズホーム、津山トンカチボランティアの会、(株)ユーホーム

(9) 介護保険法・障害者総合支援法による指定事業への取り組み

① 居宅介護支援事業

在宅で生活している高齢者が介護保険で在宅サービス等を適切に利用できるよ
うに、介護方法や困っていること・心配や不安等の相談を受ける、要介護認定の申請代
行、ケアプラン(介護サービス計画)の作成等を行いました。

1) 津山介護プラン作成センター

- ・職員体制
管理者：1名
介護支援専門員：3名(常勤3内1兼務)
- ・居宅サービス計画延作成件数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要介護1(件)	559	604	△45
要介護2(件)	281	290	△9
要介護3(件)	163	165	△2
要介護4(件)	151	106	45
要介護5(件)	74	59	15
合 計(件)	1,228	1,224	4

- ・介護予防プラン受託延件数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要支援1(件)	0	13	△13
要支援2(件)	11	4	7

合 計	11	17	△6
-----	----	----	----

・介護保険要介護認定訪問調査受託件数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
受託件数 (件)	0	1	△1

・福祉用具購入と住宅改修手続（理由書作成）件数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要支援1 (件)	0	0	0
要支援2 (件)	0	0	0
要介護1 (件)	9	6	3
要介護2 (件)	1	2	△1
要介護3 (件)	3	2	1
要介護4 (件)	4	3	1
要介護5 (件)	0	0	0
合 計 (件)	17	13	4

②介護予防訪問介護・訪問介護サービス事業

高齢者や身体の不自由な方々、また知的障がい又は精神障がいにより行動上著しい困難を有する障がい者等の方々に対して、住みなれた地域で安心して心豊かに暮らしていくことができるように、ヘルパーの派遣により、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行いました。

1) 津山介護サービスセンター

・職員体制

管理者：1名

サービス提供責任者：3名

サービス提供者：17（常勤3・非常勤14）

・要介護度別延利用者数（訪問介護）

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要介護1 (名)	289	358	△69
要介護2 (名)	127	113	14
要介護3 (名)	76	51	25
要介護4 (名)	25	39	△14
要介護5 (名)	13	32	△19
合 計 (名)	530	593	△63

・介護予防要支援別延利用者数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要支援1 (名)	268	255	13
要支援2 (名)	257	252	5
事業対象者 (名)	0	12	△12

合 計 (名)	525	519	6
---------	-----	-----	---

・ホームヘルパー利用延時間及び内訳

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
生活援助 (時間)	2787.3	3339.9	△552.6
身体介護 (時間)	2305.1	3574.2	△1269.1
予防訪問介護 (時間)	3455.0	3327.0	128.0
合 計 (時間)	8547.4	10241.1	△1693.7

・居宅介護事業延利用者数及び延時間数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用			
利用者数 (名)	75	50	25
利用日数 (時間)	476.0	277.0	199

2) 阿波介護サービスセンター

・職員体制

管理者 (1名)、サービス提供責任者 (管理者兼務)

サービス提供者 (4 (常勤2・非常勤2))

・要介護度別延利用者数 (訪問介護)

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要介護1 (名)	125	86	39
要介護2 (名)	20	26	△6
要介護3 (名)	26	23	3
要介護4 (名)	0	0	0
要介護5 (名)	0	0	0
合 計 (名)	171	135	30

・介護予防要支援別延利用者数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
要支援1 (名)	6	0	6
要支援2 (名)	46	70	△24
合 計 (名)	52	70	△18

・ホームヘルパー利用延時間及び内訳

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
生活援助 (時間)	980.25	570.00	410.25
身体介護 (時間)	823.33	508.52	314.81
予防訪問介護 (時間)	435.08	572.20	△137.12
合 計 (時間)	2238.66	1650.72	587.94

・居宅介護事業延利用者数及び延時間数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用			
利用者数(名)	12	12	0
利用日数(時間)	51.00	52.00	△1

③訪問入浴サービス事業

ご家庭で、浴室が使えない寝たきりの高齢者や身体の不自由な方に、持ち運び式の浴槽をお部屋に運び込み訪問入浴を行いました。

1) 津山訪問入浴サービスセンター

・職員体制

管理者(1名)、看護師(6名〈常勤1・非常勤5〉)、
介護員(4名)、運転手(3名)

・入浴車(3台)

・利用者人数及び利用延日数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
利用			
利用者数(名)	205	331	△126
利用回数(回)	824	1,360	△536

④デイサービス事業

少人数で家庭的な雰囲気の中で、地域で暮らしていけることを目的に取り組んでいます。

1) 阿波デイサービスセンター

・職員体制

管理者(1名〈常勤〉)、看護師(1名〈常勤〉)、生活指導員(1名〈常勤〉)、
介護員(3名〈非常勤〉)

・利用実人員及び利用延人数

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	増 額
要支援1・2			
利用実人員(名)	13	10	3
利用延人数(名)	575	357	218
利用延日数(日)	232	241	△9
要介護1～4			
利用実人員(名)	17	14	3
利用延人数(名)	1,226	1,114	112
利用延日数(日)	232	241	△9
合 計			
利用実人員(名)	30	24	6
利用延人数(名)	1,801	1,471	330
利用延日数(日)	464	482	△18

(10) 「苦情解決」相談窓口の設置

①苦情解決について

福祉サービスについて利用者等からの苦情の適切な解決にあたり、福祉サービスの質の向上を図ることを目的に設置しました。

■ 社協の組織体制の充実・強化 (基本目標 5)

1.5 組織体制の充実・強化

法人のガバナンスを確保するために、内部管理体制の基本方針を策定し、本会の基盤整備と組織体制強化のための取組みを推進しました。また、市民の期待に応え、信頼される組織として地域の福祉活動をより一層推進することを目的として、コンプライアンス推進に向けた取組みを進めました。

(1) 津山市社会福祉協議会の計画的な発展強化への取組み

《実施状況》

No.	区 分	開 催 日 時
1	理事会	6月2日、6月23日、9月14日、12月8日、3月1日 5回開催
2	評議員会	6月23日(書面による開催)、9月29日(書面による開催)、 12月22日、3月16日 4回開催
3	正副会長会	5月24日、9月7日、12月1日、2月22日 4回開催
4	監査会	5月21日、11月2日 2回開催
5	総務委員会	8月24日 1回開催
6	地域福祉推進員会	10月27日 1回開催

①その他

- 1) 自主財源の確保
- 2) 香典返し等寄付金の確保
- 3) 交通遺児激励基金寄付金の確保
- 4) 福祉基金寄付金の確保
- 5) 鶴山福祉ビルの経営
- 6) 祭壇貸出事業の経営(加茂福祉センターのみで実施)
- 7) 社会福祉士実習生受入

・本実習(23日間) 2名受入(新見公立大学、岡山県立大学)

※岡山県立大学については、新型コロナウイルス感染拡大のため5日間のみ
の実施となりました。

・短期実習(5日間) 3名受入(美作大学)

(2) 発展強化計画の実施

①組織体制の充実強化

1) 組織強化と人材育成

- ・人材育成・職員の資質の向上、職場面談の実施、職員のプレゼンテーション力強化、財源の確保と充実、総合的な財源確保、財源に関する役職員の意識改革、事業活動の広報、民間資金（助成金）の活用・事業スポンサーの発掘等検討、補助金受託金の確保、補助金受託金の使途を明確化（見える化）、補助金受託金の適正判断（金額や主旨）、事業効果のアピール（事業の見える化）

②発展強化計画の実施

- ・社会福祉法改正や社会福祉法人制度改革、さらに補助金等の減少など、本会をとりまく環境は大きく変化し厳しくなっております。こうした環境の中で、地域福祉を推進する中核的な団体として第6次地域福祉活動計画を着実に実行し、地域住民に必要とされる組織であるためには、理念や目指すべき方向性を明確にし、この活動を支える「財政基盤」、「人材育成」、「環境整備」など組織としての基盤を強化していくことが必要です。こうした認識の下、第6次地域福祉活動計画の着実な実行を目的として、本会の基盤整備と組織体制強化のため「発展強化計画」を実施しました。

(3) 津山市社会福祉協議会会員の加入促進

①地域福祉関係団体との連携による周知・啓発

各種団体との連携により、活動内容の周知・理解・啓発の機会を活かした加入促進を進めました。

②会員制度の周知

1) 会員会費

○住民会員の拡大

市民に本会の活動を理解してもらい、本会の会員として継続的に地域福祉に参加してもらえるよう、町内会を通じて会員の拡大に努めました。新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度に引き続き会費納入期限を3月31日まで延長しました。

○特別会員・普通会员の拡大

エリア内の社会福祉施設・企業等への入会案内により、継続的に地域福祉に参加してもらえるよう、特別会員・普通会员の拡大に努めました。

○会員制度の見直し

会員制度について本会の会員制度の仕組みや意義を理解してもらえるよう、本会の会員制度のあり方について検討を行いました。また、地域住民や町内自治会等に対し会員のチラシの配布や会員制度の仕組みや意義の理解促進に努めました。

《実施状況》

(単価：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額
普通会費[町内会費] (1口 300円)	4,947,900	5,034,200	△86,300
特別会費[町内会費] (1口 1,000円)	1,035,800	1,049,700	△13,900
[施設・団体]	531,500	545,500	△14,000
合 計	6,515,200	6,629,400	△114,200

2) 寄付金

＜実施状況＞

(単価：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額
福祉事業寄付金 (当該年度地域福祉の振興に 使用)	6,462,838	8,279,685	△1,816,847
指定寄付金 (交通遺児激励基金積立基金 利息は、交通遺児激励金とし て支給)	202,531	307,000	△104,469
指定寄付金 (老人福祉センター事業へ)	188,900	241,500	△52,600
合 計	6,854,269	8,828,185	△1,973,916

(4) 組織内各種会議の充実

①会議体系に基づく会議の充実

既存の会議を課題ごとに見直しながら、会議体系に基づき、会議目的役割、位置づけを明確にし、効率のよい会議を目指しました。

②各課・係を越えた横断的会議

一部の会議は横断的に担当者が集まり会議をしているが、地域課題や福祉課題等に即した会議の開催を目指しました。

(5) 法人の使命と社会的責任の強化

①法令の遵守

②リスク管理

③規則・規範を遵守

④地域公益事業の取組

・社会福祉法人等との連携

⑤津山市社会福祉協議会災害対応マニュアルの見直し

⑥新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの見直し

新型コロナウイルスの状況が変化するなか、対応するためのマニュアルを適宜見直しました。

⑦新型コロナウイルス感染症対策会議の開催

⑧新型コロナウイルス感染症対策連絡会の開催

(6) 施設の管理経営

①津山老人福祉センター「さら楽」

1) 入浴施設の運用

2) 高齢者の教養の向上、保健、レクリエーション等の講演・研修会の開催

3) 各種講座の開催並びに各種講座の作品展や発表会を開催

将棋、陶芸、木彫、御殿まり、書道、華道、歴史見学、療法ヨーガ、パソコン、ソーイング、演歌教室、小物づくり、保存食伝承、スケッチ等実施

4) ミニデイサービス事業として月2回、3金サロン事業として月1回、レクリエーションや余暇活動として、楽しく集まれる場所を提供し、高齢者の健康維持、生き

がいくりの推進

5) 地域活動の拠点づくり (つどいの場の設置)

6) 利用者送迎バス等の運行

7) 各種会議・研修会の貸室管理

・津山老人福祉センターの経営 (人員一覧)

開館日数 247日 (※2度にわたる新型コロナウイルス緊急事態宣言期間中は感染防止のため一般利用は休止するも、職員は施設の維持管理及び電話・来館者等の問合せ、介護ベッドの貸し出し・返却収受等の対応のため出勤したので、会館日数に含める。なお、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間中は、会食を伴うミニデイサロン事業、3金サロン事業、演歌講座は実施を自粛したが、他の講座や入浴事業は基本的な感染防止措置を徹底したうえで実施しました。)

《実施状況》

No.	内 容		利用者 (名)	小 計 (名)
1	市内	団体人員	139	3,631
2		一般人員	856	
3		講座	2,151	
4		ミニデイ・3金サロン	485	
5	市外	一般人員	14	14
合 計		3,645 (1日平均15名)		

8) バスの運行 (バス利用人員・バスの運行回数)

団体バスの運行は、申込人員が概ね10名以上の場合運行しました。

・運行回数：75回 利用人数：541名 (1回平均7名)

9) 主な行事及び事業

・生きがいと創造の事業 定例講座

《実施状況》

講座名	開催日	会員数 (名)	開催回数 (回)	参加人員 (名)
		令和3年度 令和2年度 (増 減)	令和3年度 平成2年度 (増 減)	令和3年度 平成2年度 (増 減)
陶 芸	毎週木曜日	14	31	298
		15 (△1)	45 (△14)	384 (△86)
木 彫	毎週土曜日	9	36	305
		9 (0)	45 (△9)	332 (△27)
華 道	第1・3火曜日	8	16	111
		17 (△9)	11 (5)	90 (21)
演 歌	第2・4火曜日	26	17	208
		30 (△4)	24 (△7)	259 (△51)
将 棋	毎週木曜日	13	35	168
		11 (2)	43 (△8)	269 (△101)
書 道	第1・3土曜日	11	18	168
		17 (△6)	20 (△2)	116 (52)
御殿まり	第2・4金曜日	9	16	85

		8 (1)	18 (△2)	72 (13)
ふるさと歴史1班	第2水曜日	17 13 (4)	10 11 (△1)	143 116 (27)
ふるさと歴史2班	隔月第4水曜日	25 30 (△5)	6 6 (0)	106 123 (△17)
保存食伝承	隔月第4木曜日	14 14 (0)	4 5 (△1)	60 50 (10)
療法ヨーガ	第1・3土曜日	17 16 (1)	20 21 (△1)	204 125 (79)
パソコン	第1・3土曜日	10 10 (0)	17 22 (△5)	72 108 (△36)
小物づくり	第1・3水曜日	6 10 (△4)	1 22 (△20)	6 105 (△99)
ソーイング	第2・4火曜日	11 13 (△2)	17 23 (△6)	145 154 (△9)
スケッチ	第2・4金曜日	7 0 (7)	16 0 (16)	72 0 (72)
合 計		197 213 (△16)	260 316 (△56)	2,151 2,303 (△152)

・ミニデイサービス事業

《実施状況》

班	開催日	地域名	会員数(名)	回数・参加人員
1班	第2・4金曜日	種・高尾・福田・押淵・荒神山	7	回数 13回 参加人員 336名
2班	第2・4金曜日	一方・平福・一方南・中島・下田邑	14	
3班	第2・4金曜日	市内中央・北部・西部	10	
4班	第2・4金曜日	市内東部	2	

・3金サロン事業

《実施状況》

事業名	開催日	地域名	会員数(名)	回数・参加人員
3金サロン	第3金曜日	旧津山市・旧久米町	25	回数 8回 参加人員 149名

・敬老週間慰問演芸大会及び作品展示は、新型コロナウイルス緊急事態宣言期間のため中止

②津山市総合福祉会館の経営

津山市福祉総合相談センター、介護福祉用具展示貸出コーナー、子育て器具貸出コーナー、ボランティア集会室、福祉図書コーナー、おもちゃ図書館の設置運営、各種会議・研修会としての貸室管理を行いました。昨年度もコロナ禍の状況の下、利用の自粛や制限が行われたため、例年は、68,000人程度の利用があったものが、55%程度の利用にとどまりました。

1) 貸室使用状況

《実施状況》

区 分	令和3年度 件数 (利用者数)	令和2年度 件数 (利用者数)	増 減 件数 (利用者数)
和室	238 (3, 486)	236 (3, 535)	2 (△49)
第1小会議室	515 (4, 337)	506 (4, 628)	9 (△291)
第2小会議室	321 (3, 390)	289 (3, 131)	32 (259)
中会議室	347 (10, 038)	340 (9, 480)	7 (558)
プレイルーム	7 (32)	2 (24)	5 (8)
研修室	314 (4, 934)	315 (4, 897)	△1 (37)
大会議室	231 (11, 481)	203 (9, 628)	28 (1, 853)
ボランティア集会室	21 (205)	27 (298)	△6 (△93)
合 計	1, 994 (37, 903)	1, 918 (35, 621)	76 (2, 282)

- 2) 津山市福祉総合相談センター
- 3) 介護福祉用具展示貸出コーナー
- 4) 子育て器具貸出コーナー
- 5) ボランティア集会室
- 6) 福祉図書コーナー
- 7) おもちゃ図書館の設置運営
- 8) 各種会議・研修会の貸室管理

③加茂町福祉センター使用状況

1) 加茂町福祉センターの管理経営 (指定管理事業 [市])

福祉の増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供し、生きがいと交流、健康相談・指導・訓練等総合的に行う拠点施設として、福祉センターの運営を行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度 件数 (利用者数)	令和2年度 件数 (利用者数)	増 減 件数 (利用者数)
大広間 (件 (名))	353 (5, 352)	349 (6, 142)	4 (△790)
研修室 (件 (名))	56 (640)	56 (758)	0 (△118)
和 室 (件 (名))	6 (26)	9 (102)	△3 (△76)
診察室 (件 (名))	482 (3, 992)	476 (3, 998)	6 (△6)
作業室 (件 (名))	241 (3, 871)	238 (3, 893)	3 (△22)
調理室 (件 (名))	9 (129)	11 (158)	△2 (△29)
2階研修室 (件 (名))	40	26	14

	(88)	(70)	(18)
歴史民俗資料館	31 (54)	34 (58)	△3 (△4)
木工所 (件〈名〉)	71 (72)	49 (63)	22 (9)
事務室 (件〈名〉)	535 (3,468)	562 (3,464)	△27 (4)
待合室 (件〈名〉)	160 (587)	136 (544)	24 (43)
合 計	1,984 (18,279)	1,946 (19,250)	38 (△971)

- ・生活、健康相談、健康診査等の支援
- ・就労継続支援B型事業所「輪輪かけはし」、障害者木工作業所の支援
- ・社会参加促進事業

《実施状況》

区 分	令和3年度 実施回数(参加者数)	令和2年度 実施回数(参加者数)	増 減 実施回数(参加者数)
ふれあい料理倶楽部 (件〈名〉)	8 (113)	8 (136)	0 (△23)
健やか倶楽部 (件〈名〉)	37 (693)	45 (895)	△8 (△202)
カラオケ倶楽部 (件〈名〉)	39 (660)	43 (1,085)	△4 (△425)
トレトレすまいる倶楽部 (件〈名〉)	19 (380)	20 (445)	△1 (△65)
ビリヤード倶楽部 (件〈名〉)	133 (504)	160 (652)	△27 (△148)
ウェーブストレッチ教室 (件〈名〉)	9 (56)	10 (62)	△1 (△6)
合 計 (件〈名〉)	245 (2,406)	286 (3,275)	△41 (△869)

- ・加茂地域イベント用品の貸出

地域での交流事業の実施や活性化が図られ、地域住民の社会参加・孤立防止・つながりづくり・生きがいづくり(役割)などが進められるように、併せて地域福祉の推進や福祉施設整備等の貴重な財源となる共同募金の啓発へもつながるように各イベント用品の貸し出しを行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度 貸出件数(保有数)	令和2年度 貸出件数(保有数)	増 減 額
綿菓子機 (件〈個〉)	4 (2)	1 (2)	3 (0)
紅白幕 (件〈個〉)	6 (25)	0 (25)	6 (0)
移動用放送設備 (件〈個〉)	0 (2)	2 (2)	△2 (0)

スポットライト (件 (個))	0 (1)	0 (1)	0 (0)
アイスクラッシャー (件 (個))	1 (1)	1 (1)	0 (0)
テント (件 (個))	0 (7)	0 (7)	0 (0)
合 計 (件 (個))	1 1 (3 8)	4 (3 8)	7 (0)

・加茂地域祭壇・祭壇用品の貸出

《実施状況》

区 分	令和3年度 貸出件数 (保有数)	令和2年度 貸出件数 (保有数)	増 減
祭壇 (大)	1 (2)	0 (2)	1 (0)
祭壇 (小)	0 (2)	2 (2)	△2 (0)
白黒幕 (件 (個))	0 (9)	1 (9)	△1 (0)
折りたたみ机 (件 (個))	0 (5)	1 (5)	△1 (0)
移動用放送設備	3 (2)	0 (2)	3 (0)
お参りセット (件 (個))	0 (2)	0 (2)	0 (0)
幕付受付机 (件 (個))	0 (2)	0 (2)	0 (0)
折りたたみ椅子 (件 (個))	0 (4 5)	2 (4 5)	△2 (0)
テント (件 (個))	0 (7)	0 (7)	0 (0)
合 計 (件 (個))	4 (7 4)	6 (7 4)	△2 (0)

2) 生活、健康相談、健康診査等の支援及び市民のあらゆる相談の受入

3) 就労継続支援B型事業所「輪輪かけはし」の支援

4) 障害者木工作业所の支援

5) 加茂町福祉センター生きがいと交流事業

すこやか体操・カラオケ倶楽部・トレトレすまいる倶楽部・料理倶楽部等の実施

6) 介護予防閉じこもり防止事業

ウェーブストレッチ体操等の実施。

7) 福祉に関する講演会、勉強会の実施

8) 手話勉強会への支援 (週1回:めぐみ荘)

9) 各種会議、研修会、講習会等の貸室管理

④阿波保健福祉センターの管理経営

1) 各種会議、研修会、講習会等の貸室管理

⑤勝北高齢者共同作業場の管理

1) 勝北共同作業場の受託管理

・高齢者の趣味、創造活動の一環としての木工教室の運営

2) 会員数: 21名 研修会: 11月 19日 参加者 8名

3) 勝北地域イベント用具等の貸出

地域での交流事業の実施や活性化が図られ、地域住民の社会参加・孤立防止・つながりづくり・生きがいづくり (役割) などが進められるように、併せて地域福祉の推進や福祉施設整備等の貴重な財源となる共同募金の啓発へもつながるように各イベント用品等の貸し出しを行いました。

《実施状況》

区 分	令和3年度 貸出件数 (保有数)	令和2年度 貸出件数 (保有数)	増 減
-----	---------------------	---------------------	-----

アイスラッシャー（件〈個〉）	2（4）	1（4）	1（0）
大鍋・ガスバーナー（件〈個〉）	0（3）	0（3）	0（0）
フライヤー（件〈個〉）	0（1）	0（1）	0（0）
焼き芋機（件〈個〉）	2（1）	2（1）	0（0）
いか焼き機（件〈個〉）	0（1）	1（1）	△1（0）
たこ焼き機（件〈個〉）	0（1）	0（1）	0（0）
グリドル（件〈個〉）	0（2）	0（2）	0（0）
うす（件〈個〉）	1（2）	0（2）	1（0）
折りたたみ机（件〈個〉）	0（4）	0（4）	0（0）
移動放送設備（件〈個〉）	0（2）	1（2）	△1（0）
折りたたみ椅子（件〈個〉）	0（39）	0（39）	0（0）
合 計（件〈個〉）	5（60）	5（60）	0（0）

1.6 広報の充実・強化

本会の取組や地域福祉活動、さらに先駆的な取組事例などについて、各種広報媒体を最大限に活用しながら継続的に情報発信を進めました。また、より多くの市民に地域（福祉）への関心を持っていただき、参加や協力の輪が広がって行くことを目指し取り組みました。

(1) 広報活動の充実

①津山市社協だより・パンフレットの内容・配布方法の検討

②津山市社協だより“広報紙”の発行（年4回；6月、9月、12月、3月）

社会福祉協議会の広報紙として、「つやま社協だより」を年4回、各42,700部発行し、各戸に配付すると共に公共施設などに配付し、多くの市民の皆様に提供しました。

《実施状況》

令和3年度		令和2年度	
巻 数	発 行 日	発 行 部 数	発行回数・部数
第138号	令和3年 6月 1日	年4回 42,700部	年4回 42,700部
第139号	令和3年 9月 1日		
第140号	令和3年12月 1日		
第141号	令和4年 3月 1日		

③パンフレットの配布

「私のまちの社会福祉協議会ガイド」等の作成と更新を行い、地域住民・関係機関団体等へ向けて事業の周知啓発を行いました。

④懇談会・座談会の開催

地域で支え合う意識の醸成にて報告済み。

⑤ホームページ等による周知

ホームページで本会や関係団体、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

《実施状況》

区 分	令和3年度	令和2年度	差 引
アクセス数 (件)	20,057	20,599	△542
ホームページ閲覧数 (件)	51,423 (平均2.6ページ)	51,461 (平均2.5ページ)	△38

⑥津山市社会福祉大会の開催

※コロナ禍により、規模を縮小しての実施ではあるが、感染防止に努めながら開催しました。

⑦福祉講演会等の開催

コロナ禍により実施が難しくなっていたが、感染防止対策などにより実施可能な範囲で、各事業の中で講演会、研修会、セミナー等の実施を行いました。

1.7 事業評価の実施

実施事業について、PLAN(計画)－DO(実施)－CHECK(評価)－ACTION(調整・改善)という循環サイクルを確立し、その事業や活動の目的・目標を明確にしながら、地域の実情に沿った事業推進が図られるように検討し結果を改善につなげる仕組みを導入しました。

(1) 事業評価制度の実施

①事業評価制度の検討

第6次地域福祉活動計画の指標などにより評価を行い、評価結果に基づいて次年度事業に向けた検討を行うなど、評価結果を活用しました。

18 組織構成

(1) 役員名簿

令和4年3月31日現在

任期：令和3年定時評議員会終結から令和5年定時評議員会終結まで

	役職名	氏名	所属団体等
1	会長	坂手 宏次	学識経験者
2	副会長	清原 三郎	津山市連合町内会
3	副会長	高山 科子	津山市民生児童委員連合協議会
4	副会長	松本 静江	津山市愛育委員連合会
5	副会長	小野 恭三	津山市老人クラブ連合会
6	理事	大山 正志	津山市連合町内会
7	理事	高山 康晴	津山市連合町内会
8	理事	眞木 好之	津山市民生児童委員連合協議会
9	理事	井上 郁子	津山市愛育委員連合会
10	理事	岡本 初子	津山市ボランティア交流会
11	理事	西野 修平	津山市議会
12	理事	大塚 邦久	中山間地域懇談会（加茂）
13	理事	須藤 眞	中山間地域懇談会（勝北）
14	理事	青山 悦子	中山間地域懇談会（久米）
15	理事	藤田 勉	津山市身体障害者福祉協会
16	理事	澤 登志子	津山市母子寡婦福祉会
17	理事	福原 文徳	老人福祉施設
18	理事	奥田 賢二	津山市社会福祉事務所
19	理事	絹田 真一	津山市社会福祉協議会
20	監事	日下 英彦	学識経験者
21	監事	岡 完治	学識経験者

(2) 評議員名簿

令和4年3月31日現在

任期：令和3年4月1日～令和3年4月1日から4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで

	役職名	氏名	所属団体等
1	評議員	飯田 早苗	津山市子ども保健部
2	評議員	生末 洋子	津山市愛育委員連合会
3	評議員	池上 憲文	津山市保育協議会
4	評議員	石本 英二	晴れの国岡山農業協同組合
5	評議員	稲田 法子	中山間地域懇談会（阿波）
6	評議員	上高 進	津山市連合町内会
7	評議員	植月 加代子	中山間地域懇談会（勝北）
8	評議員	内田 妙子	津山市愛育委員連合会
9	評議員	大塚 人美	中山間地域懇談会（加茂）
10	評議員	岡田 進	津山市子ども会連合会
11	評議員	小椋 道典	津山市連合町内会
12	評議員	影山 美智子	津山市ボランティア交流会
13	評議員	加田 美恵	中山間地域懇談会（勝北）
14	評議員	岸本 常義	津山市連合町内会
15	評議員	清田 寂源	救護施設等
16	評議員	國米 裕喜	中山間地域懇談会（久米）
17	評議員	後藤 和哉	津山商工会議所
18	評議員	櫻井 健一	津山市環境衛生推進委員会
19	評議員	佐山 雅之	老人・身体障害者施設
20	評議員	重松 正起	津山市連合町内会
21	評議員	清水 厚子	学識経験者
22	評議員	治郎丸 清志	津山市民生児童委員連合協議会
23	評議員	杉山 誠一	学識経験者
24	評議員	杉山 良次	中山間地域懇談会（久米）
25	評議員	高須 昌明	津山市連合町内会
26	評議員	高原 雅子	津山地区保護司会
27	評議員	竹内 二男	津山市民生児童委員連合協議会
28	評議員	田島 美智子	津山市民生児童委員連合協議会
29	評議員	田淵 廣美	津山市民生児童委員連合協議会
30	評議員	寺本 勝	津山市連合町内会
31	評議員	都井 啓子	中山間地域懇談会（加茂）
32	評議員	福田 邦夫	学識経験者
33	評議員	藤井 浩次	津山市地域振興部
34	評議員	二木 幸子	津山市手をつなぐ育成会
35	評議員	眞木 巧	津山市連合町内会
36	評議員	眞木 徹	津山歯科医師会
37	評議員	松田 浩一郎	津山児童福祉施設職員研究協議会
38	評議員	向谷 雅史	津山市医師会
39	評議員	山本 竜義	津山青年会議所

(3)機構図

令和4年3月31日現在

